# 主な学会発表

## 1990 年以前

1. 平田純生，山本忠司，堀内延昭，水谷洋子，山川　真: 尿毒症体液成分の chromatography による分析，第 11 回大阪透析研究会, 1978
2. 平田純生，山本忠司，堀内延昭，水谷洋子，山川　眞: ダイアライザーと直列に接続した小型 HFAK の限外濾液分析について，第 23 回人工透析研究会, 1979
3. 平田純生，山本忠司，堀内延昭，野崎寛爾，水谷洋子，山川　眞，田中　寛，岸本武利，前川正信: 血液透析中の限外濾液分析－新しく考案した限外濾液連続分取装置について－，第 17 回人工臓器学会, 1979
4. 平田純生，山本忠司，堀内延昭，西谷　博，大川典彦，水谷洋子，山川　真，杉村一誠 ，岸本武利，前川正信: 血液透析患者限外濾液中のカテコールアミン濃度．第 23 回日本腎臓学会総会, 1980
5. 平田純生，堀内延昭，山本忠司，八星元彦，西谷　博，水谷洋子，山川　真，　山本啓介，江崎和芳，岸本武利，前川正信: 血液透析患者限外濾液中のカテコールアミン濃度（第 2 報）．第 24 回日本腎臓学会総会, 1981
6. 平田純生，堀内延昭，山本忠司，八星元彦，西谷　博，水谷洋子，山川　真，山本啓介，江崎和芳，岸本武利，前川正信: 高 Na 透析時の限外濾液中カテコールアミン濃度について．第 19 回日本人工臓器学会, 1981
7. 平田純生，堀内延昭，山本忠司，趙　秀憲，今城保定，姜　宗憲，橋中保男，山川　眞: 血液透析患者の血清セレン濃度についての検討．第 3 回輸液・微量栄養素研究会, 1988
8. 平田純生，堀内延昭，山本忠司，趙　秀憲，今城保定，姜　宗憲，橋中保男，山川　眞: 慢性腎不全患者の血清セレン濃度．第 30 回大阪透析研究会, 1988
9. 平田純生，堀内延昭，山本忠司，趙　秀憲，今城保定，姜　宗憲，橋中保男，山川　眞: 慢性腎不全患者の血清セレン濃度．第 33 回日本透析療法学会, 1988
10. 平田純生，和泉　智，堀内延昭，山本忠司，趙　秀憲，　山川　真，: rHUEPO 投与による慢性腎不全患者の貧血改善と血清および全血 Zn, Se 濃度の変化．第 5 回輸液微量栄養素研究会, 1989
11. Hirata S, Horiuchi N, Yamamoto T, Cho H, Yamakawa M: Serum Selenium concentration in patients with chronic renal failure. 2nd Meeting of International Society for Trace Elements Research in Humans , 1990
12. 平田純生，和泉　智，堀内延昭，山本忠司，趙　秀憲，　山川　真 ：rHUEPO 投与による血液透析患者の腎性貧血の改善と血清及び全血 Zn, Se 濃度の変化．第 32 回日本腎臓学会総会, 1989
13. 和泉　智，平田純生，堀内延昭，山本忠司，佐藤　博，　山川　真 ：セレンの透析性について－セレンは透析で除去され得るか？－，第 34 回大阪透析研究会, 1990
14. 平田純生，和泉　智，堀内延昭，山本忠司，佐藤　博，金　昌雄，入谷純光 ，　山川　真 ：セレンの透析性について－セレンは透析で除去され得るか？－，第 35 回日本透析療法学会, 1990

15. Hirata S, Izumi S, Horiuchi N, Yamamoto T, Yamakawa M: Low serum levels in chronic renal failure. XIth International Congress of Nephrology, 1990

## 1992 年-1995 年

16. 和泉　智，平田純生，堀内延昭，山本忠司，西谷　博，　山川　真：透析患者における血清セレンと過酸化脂質，第 38 回大阪透析研究会, 1992
17. 和泉　智，平田純生，堀内延昭，山本忠司，入谷純光，西谷　博，　金　昌雄，山川　真：透析患者における血清セレンと活性酸素障害について，第 3 回日本微量元素学会, 1992
18. 和泉　智，平田純生，堀内延昭，山本忠司，入谷純光，西谷　博，　金　昌雄，山川　真：透析患者における血清セレンと活性酸素障害について，第 35 回日本腎臓学会, 1992
19. 平田純生，和泉　智，坪田貴子，浜沢三恵子，松月奈美，堀内延昭，小坂英俊，田中一彦: 透析患者への TDM の有用性（第 1 報）血中濃度のモニタリングにより Disopyramide の至適投与量を決定し得た CAPD 症例，第 43 回大阪透析研究会, 1994
20. 平田純生，和泉　智，坪田貴子，浜沢三恵子，松月奈美，堀内延昭，小坂英俊，田中一彦:透析患者への TDM の有用性（第 2 報）慢性腎不全患者におけるジソピラミド代謝物測定の意義，大阪透析研究会第 44 回大阪透析研究会, 1995
21. 平田純生，和泉　智，坪田貴子，浜沢三恵子，松月奈美，堀内延昭，小坂英俊，田中一彦:慢性腎不全患者におけるジソピラミド代謝物測定の意義，日本 TDM 学会, 1995
22. 和泉　智，平田純生，坪田貴子，松月奈美，浜沢三恵子，堀内延昭，山本忠司，渡辺美智子，奥村道昭，　田中一彦，金　昌雄，上野和行: CAPD 腹膜炎における抗生剤の投与方法，第 12 回日本 TDM 学会, 1995
23. Hirata S, Izumi S, Horiuchi N, Kosaka H, Kim M, Tnanaka K, Ueno K: Importance of measuring the metabolite of Disopyramide in patients with renal failure. 4th International Congress of Therapeutic Drug Monitoring and Clinical Toxicology, 1995
24. 和泉　智，平田純生，坪田貴子，松月奈美，浜沢三恵子，堀内延昭，山本忠司，渡辺美智子，奥村道昭，　田中一彦，金　昌雄，上野和行: CAPD 腹膜炎における抗生剤の投与方法，第 1 回腹膜透析研究会, 1995
25. 松月奈美，和泉　智，　杉下進一，浜沢三恵子，小泉恩伶，平田純生，佐藤　洋，岡田直人，山本忠司，金　昌雄: 腎疾患専門病院における院内医薬品集に求められる情報. 第 45 回大阪透析研究会, 1995

## 1996 年

26. 浜沢三恵子，平田純生，和泉　智，　松月奈美，小泉恩伶，杉下進一，　堀内延昭，大年辰幸，田中一彦，金　昌雄: 透析患者への TDM の有用性(第 3 報)透析症例におけるバンコマイシンの TDM，第

46 回大阪透析研究会, 1996

27. 小泉恩伶, 浜沢三恵子, 松月奈美, 杉下進一, 和泉　智, 平田純生, 堀内延昭, 田中一彦, 北山佳弘, 金　昌雄: 透析患者へのTDMの有用性(第4報)透析症例におけるアセタゾラミドの適正投与法, 第46回大阪透析研究会, 1996
28. 杉下進一, 浜沢三恵子, 松月奈美, 小泉恩伶, 和泉　智, 平田純生, 堀内延昭, 田中一彦, 金　昌雄: 透析患者への TDM の有用性（第 5 報）当院における TDM の現況, 第 46 回大阪透析研究会, 1996
29. 平田純生: 透析患者の薬物療法, ドラッグフォーラム・オーサカ第 63 回例会, 1995
30. 平田純生, 浜沢三恵子, 和泉　智,　松月奈美, 小泉恩伶, 杉下進一,　堀内延昭, 大年辰幸, 田中一彦, 金　昌雄: 透析症例におけるバンコマイシン投与マニュアル.第 13 回日本 TDM 学会, 1996
31. 小泉恩伶, 浜沢三恵子, 松月奈美, 杉下進一, 和泉　智, 平田純生, 堀内延昭, 田中一彦, 北山佳弘, 金　昌雄: 透析症例におけるアセタゾラミドの適正投与法, 第 13 回日本 TDM 学会, 1996
31. 和泉　智,　松月奈美, 平田純生, 浜沢三恵子, 杉下進一, 小泉恩伶, 山本忠司, 田中一彦, 金　昌雄: 透析病院における院内医薬品集.第 41 回日本透析医学会総会, 1996
32. 浜沢三恵子, 平田純生, 和泉　智,　松月奈美, 小泉恩伶, 杉下進一,　堀内延昭, 大年辰幸, 田中一彦, 金　昌雄: 透析症例におけるバンコマイシンの TDM. 第 41 回日本透析医学会総会, 1996
32. 杉下進一, 浜沢三恵子, 松月奈美, 小泉恩伶, 筆本真由美, 和泉　智,　平田純生, 堀内延昭,　田中一彦, 金　昌雄: 透析患者への TDM の有用性（第 6 報）透析患者のジゴキシン中毒, 第 47 回大阪透析研究会, 1996
33. 和泉　智,　浜沢三恵子, 松月奈美, 杉下進一, 小泉恩伶, 筆本真由美, 平田純生, 堀内延昭, 山本忠司, 大年辰幸, 田中一彦, 金　昌雄:透析患者への TDM の有用性（第 7 報）CAPD 腹膜炎におけるバンコマイシン・セフタジジムの薬物動態, 第 47 回大阪透析研究会, 1996
34. 平田純生, 和泉　智, 浜沢三恵子, 松月奈美, 小泉恩伶, 杉下進一, 筆本真由美, 堀内延昭, 田中一彦, 金　昌雄, 透析病院に必要な情報を備えた院内医薬品集の作成, 第 48 回大阪透析研究会, 1996
35. 黒川尚夫、平田純生, 宮垣義明, 中西秀紀, 山田直也, 高田茂一, 堀内延昭, 田中一彦, 金　昌雄:各種血液浄化法における in vitro 除去性能について－第 1 報－, 第 47 回大阪透析研究会, 1996
36. 平田純生, 和泉　智, 浜沢三恵子, 松月奈美, 小泉恩伶, 杉下進一, 筆本真由美, 堀内延昭, 大年辰幸, 金　昌雄: 透析患者におけるバンコマイシンの薬物動態, 第 20 回関西透析医学セミナー, 1996

## 1997 年

**筆本真由美さん　優秀論文章受賞**
**第 48 回大阪透析研究会会誌**
**虚血性腸炎と併用薬剤**

**和泉智さん　優秀論文章受賞**
**第 49 回大阪透析研究会会誌**
**透析患者の投与設計に必要な情報を備えた院内医薬品集および**
**そのインターネット版の作成**

**優秀課題章受賞**
**第 9 回大阪病院学会**
**透析病院における院内医薬品集**

36. 筆本真由美，浜沢三恵子，松月奈美，小泉恩伶，和泉　智，平田純生，堀内延昭，北山佳弘，平中俊行，金　昌雄: 虚血性腸炎と併用薬剤，第 48 回大阪透析研究会, 1997 筆本真由美さん優秀論文賞受賞
37. 小泉恩伶，浜沢三恵子，松月奈美，筆本真由美，和泉　智，平田純生，堀内延昭，金　昌雄: 透析患者への TDM の有用性（第 8 報）透析症例におけるアセタゾラミドの長期投与，第 48 回大阪透析研究会, 1997
38. 平田純生，浜沢三恵子，松月奈美，小泉恩伶，筆本真由美，和泉　智，堀内延昭，大年辰幸，金　昌雄: 透析患者への TDM の有用性（第 9 報）フェニトイン・フェノバルビタールの透析性を検討した一症例，第 48 回大阪透析研究会, 1997
39. 和泉　智，　大年辰幸，浜沢三恵子，松月奈美，小泉恩伶，筆本真由美，平田純生，堀内延昭，田中一彦，金　昌雄: CAPD 腹膜炎におけるバンコマイシン・セフタジジムの薬物動態，第 42 回日本透析医学会総会, 1997
40. 小泉恩伶，浜沢三恵子，松月奈美，筆本真由美，和泉　智，平田純生，堀内延昭，田中一彦，北山佳弘，金　昌雄: 透析症例におけるアセタゾラミドの適正投与法，第 42 回日本透析医学会総会, 1997
41. 平田純生，松月奈美，浜沢三恵子，小泉恩伶，筆本真由美，和泉　智，堀内延昭，田中一彦，金　昌雄: 透析症例のジゴキシン中毒，第 14 回日本 TDM 学会, 1997
42. 平田純生，浜沢三恵子，小泉恩伶，筆本真由美，和泉　智，堀内延昭，大年辰幸，金　昌雄: フェニトインの透析中の薬物動態を検討した一症例，第 14 回日本 TDM 学会, 1997
43. 平田純生，小泉恩伶，和泉　智，黒川尚夫，宮垣義明，中西秀紀，金　昌雄: 牛血漿を用いた in vitro 各種血液浄化法における薬物の除去性能，第 8 回日本病院薬学会, 1997
44. 和泉 智，平田純生，長谷川 健，箱崎裕次，山田秀太郎，浜沢三恵子，小泉恩伶，筆本真由美，川上美由希，金 昌雄: 透析患者の投与設計に必要な情報を備えた院内医薬品集およびそのインターネット版の作成，第 49 回大阪透析研究会, 1997　和泉智さん優秀論文賞受賞
45. 平田純生，黒川尚夫，岡林和美，中西秀紀，小泉恩伶，和泉　智，浜沢三恵子，筆本真由美，川上美由希，金　昌雄: 牛血漿を用いた in vitro 各種血液浄化法における薬物の除去性能-第 2 報-，第 49 回大阪透析研究会, 1997
46. 平田純生，和泉　智，浜沢三恵子，小泉恩伶，筆本真由美，川上美由希，金　昌雄: 透析病院における院内医薬品集，　第 9 回大阪病院学会, 1997　優秀演題賞受賞
47. Satoshi Izumi, Sumio Hirata, Miharu Koizumi, Kazuhiko Tanaka, Kazuyuki Ueno, Masao Kim: Dosage adjustment of acetazolamide to the patients on end stage renal disease, 5th International

Congress of Therapeutic Drug Monitoring and Clinical Toxicology, 1997

48. 和泉　智，大年辰幸，浜沢三恵子，松月奈美，小泉恩伶，筆本真由美，平田純生，堀内延昭，田中一彦，金　昌雄: CAPD 腹膜炎におけるバンコマイシン・セフタジジムの薬物動態. 第 18 回日本臨床薬理学会, 1997
49. 筆本真由美，浜沢三恵子，松月奈美，小泉恩伶，和泉　智，平田純生，堀内延昭，北山佳弘，平中俊行，金　昌雄: 虚血性腸炎と併用薬剤，第 18 回日本臨床薬理学会, 1997

## 1998 年

**中西秀紀さん　優秀論文章受賞**
**第 50 回大阪透析研究会会誌**
**牛血漿を用いた in vitro 各種血液浄化法における除去性能（第 3 報）**
**～荷電を有する合成膜の吸着性について～**

50. 平田純生，和泉　智，　浜沢三恵子，小泉恩伶，筆本真由美，川上美由希，箱崎裕久，山田秀太郎，長谷川　健，山川智之，金　昌雄，田中一彦: 透析患者に必要な情報を備えた医薬品集とそのインターネット版の作成，近畿病院薬学会, 1998
51. 和泉　智，平田純生，浜沢三恵子，小泉恩伶，筆本真由美，川上美由希，田中一彦，金　昌雄: 薬剤情報の提供および副作用情報の収集，近畿病院薬学会, 1998
52. 和泉　智，平田純生，浜沢三恵子，小泉恩伶，筆本真由美，川上美由希，金　昌雄，田中一彦: 透析患者への副作用情報の提供および副作用モニタリング. 第 50 回大阪透析研究会, 1998
53. 浜沢三恵子，平田純生，和泉 智，小泉恩伶，筆本真由美，川上美由希，出雲谷 剛，金 昌雄，田中一彦: 透析患者への TDM の有用性（第 10 報）透析患者におけるジゴキシンの TDM，第 50 回大阪透析研究会, 1998
54. 川上美由希，平田純生，和泉 智，浜沢三恵子，小泉恩伶，筆本真由美，別所偉光，加藤禎一，金 昌雄，田中一彦: 透析患者への TDM の有用性（第 11 報）ファモチジンによる汎血球減少症の疑われた 1 症例，　第 50 回大阪透析研究会, 1998
55. 中西秀紀，黒川尚夫，高峰利幸，崎田憲明，小北克也，岡林和美，平田純生，小泉恩伶，筆本真由美，小走佳司，山本忠司，金 昌雄，田中一彦: 牛血漿を用いた *in vitro* 各種血液浄化法における除去性能（第 3 報）～荷電を有する合成膜の吸着性について～. 第 50 回大阪透析研究会, 1998

中西秀紀さん優秀論文賞受賞

平田純生: 腎疾患時の循環器用薬の TDM と服薬指導, TDM 近畿セミナー教育講演, 1998

56.　平田純生，和泉　智，浜沢三恵子，小泉恩伶，筆本真由美，川上美由希，金　昌雄: 薬剤情報提供と連動した副作用情報収集，日本薬学会第 118 年会, 1998
57.　筆本真由美，平田純生，和泉　智，浜沢三恵子，小泉恩伶，川上美由希，平中俊行，金 昌雄，田中一彦: 血液透析患者の虚血性腸炎と併用薬剤，第 43 回日本透析医学会, 1998
58. 平田純生，黒川尚夫，岡林和美，中西秀紀，小泉恩伶，筆本真由美，和泉　智，浜沢三恵子，川上美由希，金　昌雄，田中一彦: 再生セルロース膜による in vitro 各種血液浄化法における薬物の除去

性能. 第 43 回日本透析医学会, 1998

59. 和泉　智, 大年辰幸, 浜沢三恵子, 松月奈美, 小泉恩伶, 筆本真由美, 平田純生, 堀内延昭, 田中一彦, 金　昌雄: CAPD 腹膜炎におけるイセパマイシンの投与方法の検討, 第 15 回日本 TDM 学会, 1998
60. 浜沢三恵子, 平田純生, 和泉 智, 小泉恩伶, 筆本真由美, 川上美由希, 出雲谷 剛, 金 昌雄, 田中一彦: 透析患者における血漿ジゴキシン濃度を上昇させる要因, 第 15 回日本 TDM 学会, 1998
61. 平田純生, 和泉 智, 浜沢三恵子, 小泉恩伶, 筆本真由美, 川上美由希, 金 昌雄, 田中一彦:腎不全専門病院の病棟活動と TDM, 第 15 回日本 TDM 学会シンポジウム「病棟業務と TDM」, 1998
62. 和泉　智: 副作用情報の提供と副作用モニタリング, ドラッグフォーラム・オーサカ第 85 回例会, 1998
63. 和泉　智, 平田純生, 浜沢三恵子, 小泉恩伶, 筆本真由美, 川上美由希, 箱崎裕久, 山田秀太郎, 山川智之, 金　昌雄, 田中一彦: 透析患者に対する投薬ガイドラインの作成とインターネットによる公開, 第 9 回日本病院薬学会, 1998
64. 小泉恩伶, 平田純生, 和泉　智 , 浜沢三恵子, 筆本真由美, 川上美由希, 箱崎裕久, 山田秀太郎, 山川智之, 金　昌雄, 田中一彦: 透析症例におけるアセタゾラミドの適正投与法, 第 9 回日本病院薬学会, 1998
65. 和泉　智 , 平田純生, 浜沢三恵子, 小泉恩伶, 筆本真由美, 川上美由希, 加藤禎一, 金　昌雄, 田中一彦: 透析患者に対するアロプリノール投与について, 第 51 回大阪透析研究会, 1998
66. 平田純生, 小走佳司, 和泉　智 , 浜沢三恵子, 小泉恩伶, 筆本真由美, 川上美由希, 出雲谷　剛,金昌雄, 田中一彦: 透析患者への TDM の有用性（第 12 報）透析患者のジゴキシン様免疫反応物質（DLIS）について, 第 51 回大阪透析研究会, 1998
67. 平田純生: 副作用情報の提供と副作用モニタリング～今、薬剤師にできること～. 平成 10 年度第 2 回近畿大学生涯教育研修会, 1998
68. 平田純生: 腎不全と薬物療法～今、薬剤師にできること～, 平成 10 年第 2 回奈良県病薬学術講演会, 1998
69. 川上美由希, 平田純生, 和泉 智, 浜沢三恵子, 小泉恩伶, 筆本真由美, 別所偉光, 加藤禎一, 金 昌雄, 田中一彦: ファモチジンによる汎血球減少症の疑われた 1 症例, 第 19 回日本臨床薬理学会, 1998
70. 平田純生, 和泉　智 , 浜沢三恵子, 小泉恩伶, 筆本真由美, 川上美由希, 金　昌雄, 田中一彦: 透析患者のジゴキシン様免疫反応物質（DLIS）について, 第 19 回日本臨床薬理学会, 1998
71. 平田純生: 腎不全と薬物療法～今、薬剤師にできること～, 第 77 回滋賀県病院薬剤師会湖南支部会員研修会, 1998

## 1999 年

72. 平田純生: 「病棟業務の新しい流れ」～腎不全患者を中心にして～, 和歌山県病院薬剤師会学術講演会, 1999
73. 筆本真由美,平田純生, 和泉　智, 浜沢三恵子, 小泉恩伶, 川上美由希, ,金　昌雄, 田中一彦: 透析

患者への TDM の有用性（第 13 報）透析患者におけるアシクロビル投与方法の検討, 第 52 回大阪透析研究会, 1999

74. 平田純生: 中小病院における実務実習, 日本薬学会第 119 年会シンポジウム「長期病院実習」, 1999
75. 平田純生, 和泉　智, 浜沢三恵子, 小泉恩伶, 筆本真由美, 川上美由希, 出雲谷　剛, 金　昌雄, 田中一彦: 透析患者のジゴキシン様免疫反応因子（DLIF）, 第 44 回日本透析医学会, 1999
76. 浜沢三恵子, 平田純生, 和泉 智, 小泉恩伶, 筆本真由美, 川上美由希, 出雲谷 剛, 金 昌雄, 田中一彦: 透析患者の血漿ジゴキシン濃度上昇要因について, 第 44 回日本透析医学会, 1999
77. 筆本真由美,平田純生, 和泉　智 , 浜沢三恵子, 小泉恩伶, 川上美由希 ,金　昌雄, 田中一彦: 透析患者におけるアシクロビル投与方法の検討, 第 16 回日本 TDM 学会,1999
78. 平田純生: 腎不全と薬物療法, 京都大学病院医療薬学研究会特別講演, 1999
79. 平田純生: 腎不全と薬物療法～今、薬剤師にできること～, 熊本大学薬学部オープンセミナー特別講演, 1999
80. 平田純生: 中小病院における実務実習へのあり方. ドラッグフォーラム・オオサカ第 97 回例会, 1999
81. 平田純生, 和泉　智, 川上美由希, 安達真美, 金　昌雄, 田中一彦: 薬剤科における副作用一元管理システム, 第 10 回日本病院薬学会, 1999
82. 安達真美, 平田純生, 和泉　智, 川上美由希, 金　昌雄, 田中一彦: 透析患者への TDM の有用性(第 14 報）当院における TDM システムおよびその現況. 第 53 回大阪透析研究会, 1999.
83. 和泉　智, 平田純生, 川上美由希, 安達真美, 箱崎裕次, 山川智之, 金　昌雄, 田中一彦: インターネット版「透析患者の投薬ガイドライン」のバージョンアップ. 第 53 回大阪透析研究会, 1999
84. 平田純生, 小走佳司, 和泉　智, 川上美由希, 安達真美, 出雲谷　剛,金　昌雄, 田中一彦: ジゴキシン様免疫反応因子が高値であった血液透析症例, 第 10 回大阪病院学会, 1999
85. 平田純生: 透析と薬物療法, 兵庫県病院薬剤師会西神戸支部学術講演会特別講演, 1999
86. 川上美由希, 平田純生, 和泉　智, 安達真美, 長末京子, 金　昌雄, 田中一彦: Valproic acid（VPA）遊離型血漿濃度測定により治療効果のコントロールができた透析症例. 第 20 回日本臨床薬理学会, 1999

## 2000 年

87. 平田純生: 腎不全専門病院における薬剤師の役割. 第 21 回近畿病薬学術大会シンポジウム「見える薬剤師像をめぐって」, 2000
88. 和泉　智, 平田純生, 川上美由希, 金　昌雄, 田中一彦: 透析患者におけるアルベカシンの TDM . 第 21 回近畿病薬学術大会, 2000
89. 和泉　智, 平田純生, 川上美由希, 安達真美,, 金　昌雄, 田中一彦: 透析患者への TDM の有用性（第 15 報）透析患者におけるアルベカシンの投与方法の検討.第 54 回大阪透析研究会, 2000
90. 平田純生, 小走佳司, 和泉　智, 川上美由希, 安達真美, 出雲谷剛, 金　昌雄, 田中一彦: 透析患者への TDM の有用性（第 16 報）透析患者におけるジゴキシン様免疫反応因子上昇要因について. 第 54 回大阪透析研究会, 2000
91. 平田純生: 腎不全患者の投与設計の基礎. 第 1 回腎と薬剤研究会特別講演, 2000

92. 美濃睦子，平田純生，和泉　智，安達真美，金　昌雄，田中一彦: 透析患者におけるアルベカシン投与方法の検討．第 17 回日本 TDM 学会,2000
93. 川上美由希，平田純生，和泉　智，安達真美，金　昌雄，田中一彦: 白鷺病院における TDM データベースの作成.第 17 回日本 TDM 学会,2000
94. 平田純生，小走佳司，和泉　智，川上美由希，安達真美，出雲谷剛，金　昌雄，田中一彦: 透析患者におけるジゴキシン様免疫反応因子（DLIF）上昇要因の検討.第 17 回日本 TDM 学会,2000
95. 太田美由希: バンコマイシンの肺移行性.第 2 回腎と薬剤研究会ミニレビュー, 2000
96. 平田純生，小走佳司，和泉　智，太田美由希，安達真美，出雲谷剛，金　昌雄，田中一彦: 2 透析症例におけるジゴキシン様免疫反応因子上昇要因の検討．第 45 回日本透析医学会, 2000
97. 和泉　智，平田純生，太田美由希，安達真美，金　昌雄，田中一彦:透析患者におけるアルベカシンの投与方法の検討.第 45 回日本透析医学会, 2000
98. 安達真美，平田純生，和泉　智，太田美由希，金　昌雄，田中一彦: 透析患者への TDM の有用性(第 17 報）透析患者におけるバンコマイシンの投与方法の検討．第 55 回大阪透析研究会, 2000
99. 太田美由希，平田純生，和泉　智，安達真美，前川きよし，田中一彦:透析患者への TDM の有用性（第 18 報）遊離型バルプロ酸濃度が変動する透析症例：蛋白結合率変動の要因．第 55 回大阪透析研究会, 2000.
100. 平田純生: 透析と薬物療法～投与設計へのアプローチ～．第 14 回新潟応用薬学研究会特別講演, 2000.
101. 平田純生: 透析患者の投与設計．北海道 TDM 研究会ワークショップ特別講演, 2000
102. 安達真美，平田純生，和泉　智，太田美由希，金　昌雄，田中一彦: II 型透析膜使用中の血液透析患者におけるバンコマイシンの投与方法の検討．第 11 回日本病院薬学会, 2000
103. 平田純生: 副作用をいかに防ぐか？～腎不全患者の投与設計～　第 11 回日本病院薬学会シンポジウム「薬物療法の個別化と薬剤師の貢献」, 2000
104. 和泉　智，平田純生，,太田美由希，安達真美,，金　昌雄，田中一彦: 副作用モニタリングと禁忌薬管理システム．第 10 回日本病院薬学会, 2000
105. 平田純生: 透析患者の投与設計．北見透析研究会特別講演, 2000
106. 和泉　智: 副作用一元管理の有用性～中毒性副作用を中心に～副作用研究会シンポジウム, 2000.

## 2001 年

**日本 TDM 学会第 1 回海老原賞（国際 TDM 学会派遣賞）受賞**

**Washington DC で開催された IATDM-CT で発表**

107. 安達真美，平田純生，和泉　智，太田美由希，金　昌雄，田中一彦:透析患者における塩酸バンコマイシン(VCM)散経口投与後の血漿 VCM 濃度．第 22 回日本病院薬剤師会近畿学術大会, 2001.
108. 安達真美，平田純生，和泉　智，太田美由希，奥野仙二，金　昌雄，田中一彦:透析患者への TDM

の有用性(第19報)透析患者における塩酸バンコマイシン(VCM)散経口投与後の血漿VCM濃度. 第56回大阪透析研究会, 2001

109. 平田純生, 和泉　智, 太田美由希, 安達真美, 出雲谷剛, 金　昌雄, 田中一彦: 透析患者への TDM の有用性（第 20 報）透析患者におけるジゴキシンとクラリスロマイシンの相互作用. 第 56 回大阪透析研究会, 2001.

110. 辻本雅之, 平田純生, 和泉　智, 太田美由希, 安達真美, 金　昌雄, 田中一彦, 横山照由: 透析患者血清を用いた *in vitro* における蛋白結合率に影響を与える諸因子の研究. 第 56 回大阪透析研究会, 2001.

111. 平田純生: 腎不全患者の薬物投与設計の実践. 医療薬学フォーラム 2001 シンポジウム「医療薬学実践への取り組み」. 第 9 回クリニカルファーマシーシンポジウム, 2001.

112. 辻本雅之, 平田純生, 和泉智, 太田美由希, 安達真美, 高良恒史, 大西憲明, 横山照由, 田中一彦:腎不全血清を用いた in vitro 系における蛋白結合に影響を与える諸因子の研究. 第 18 回日本 TDM 学会, 2001.

113. 平田純生, 和泉　智, 太田美由希, 安達真美, 出雲谷剛, 金　昌雄, 田中一彦: 透析患者におけるジゴキシンとクラリスロマイシンの相互作用. 第 18 回日本 TDM 学会, 2001.

114. 太田美由希, 平田純生, 和泉　智, 安達真美, 箱崎裕次, 山川智之, 金　昌雄, 田中一彦:院内ネットワークにおける TDM データベースの作成. 第 18 回日本 TDM 学会, 2001.

115. 紀岡真由美, 中井由佳, 宮澤隆博, 乾　嗣昌, 田中　肇, 平田純生: Disopyramide 血清濃度高値を示した末期癌患者の 1 症例.第 18 回日本 TDM 学会, 2001.

116. 平田純生: 透析患者の薬物投与設計. 第 46 回日本透析医学会教育講演, 2000.

117. 安達真美, 平田純生, 和泉　智, 太田美由希, 金　昌雄, 田中一彦: II 型透析膜使用中の血液透析患者におけるバンコマイシンの投与方法の検討.. 第 46 回日本透析医学会, 2001.

118. Hirata S, Adachi M, Izumi S, Ohta M, Furukubo T, Kim M, Tanaka K; Influence of surface area of high surface area of high flux dialyser membrane on the vancomycin elimination. 7th International Congress of Therapeutic Drug Monitoring and Clinical Toxicology, 2001

日本 TDM 学会第 1 回海老原賞（国際 TDM 学会派遣賞）を受賞

Washington DC で開催された IATDM-CT で発表

119. 和泉　智, 平田純生, 太田美由希, 安達真美, 古久保拓, 箱崎裕次, 山川智之, 金　昌雄, 田中一彦; 副作用モニタリングと禁忌薬管理システム. 第 11 回大阪病院学会, 2001.

120. 安達真美, 平田純生, 和泉　智, 太田美由希, 古久保拓, 奥野仙二, 金　昌雄, 田中一彦: 透析患者における塩酸バンコマイシン(VCM)散経口投与後の血漿 VCM 濃度. 第 12 回日本医療薬学会, 2001.

121. 平田純生, 和泉　智, 太田美由希, 安達真美, 古久保拓, 出雲谷剛, 金　昌雄, 田中一彦: ジゴキシンとクラリスロマイシンの相互作用. 第 12 回日本医療薬学会, 2001.

122. 太田美由希, 辻本雅之, 平田純生, 和泉　智, 安達真美, 古久保拓, 大西憲明, 横山照由, 田中一彦:透析患者におけるバルプロ酸の蛋白結合率低下とその予測. 第 12 回日本医療薬学会, 2001.

123. 古久保 拓, 安達真美, 太田美由希, 和泉 智, 平田純生, 金 昌雄, 田中 一彦: 透析患者への TDM の有用性 （第 21 報） 短期間経口投与でアシクロビル中毒をきたた透析症例. 第 57 回大阪透析研究会, 2001

124. 上西幸治, 田中一彦, 平田純生, 和泉　智, 太田美由希, 安達真美, 古久保　拓, 出雲谷　剛, 金

昌雄: 透析患者への TDM の有用性（第 22 報）透析患者におけるジゴキシンの薬物間相互作用. 第 57 回大阪透析研究会, 2001

125. 坂口麻依子, 妹尾有起, 内田麻希, 小北克也, 寺田隆久, 宮脇奈美, 白川憲之, 浦中久, 南伸治, 中西秀紀, 岡林和美, 平田純生, 山本忠司, 金昌雄, 山川智之: シャント血流量測定補正式導入その後. 第 57 回大阪透析研究会, 2001

126. 是田あゆみ, 白川憲之, 高田茂和, 南伸治, 山邊一元, 中西秀紀, 岡林和美, 平田純生, 山本忠司, 金昌雄, 山川智之: リクセル S-15･S-35 におけるエンドセリン-1 吸着能の比較, 第 57 回大阪透析研究会, 2001

127. 谷口祐子, 白川憲之, 松岡秀和, 松本哲治, 南伸治, 中西秀紀, 岡林和美, 平田純生, 山本忠司, 金昌雄, 山川智之: 血液中微量元素 Si 除去の検討-第 2 報-. 第 57 回大阪透析研究会, 2001

128. 段　由規彦, 平田純生, 本田友博, 和泉　智, 小薮紀子, 大谷壽一, 澤田康文: 透析患者におけるジゴキシン血中濃度の個人差と MDR1 遺伝子多型との関連性の検討. 第 18 回日本薬学会九州支部大会, 2001

129. 古久保 拓, 安達真美, 太田美由希, 和泉 智, 平田純生, 金 昌雄, 田中 一彦: 短期間経口投与でアシクロビル中毒をきたした透析症例. 第 22 回日本臨床薬理学会, 2001

130. 上西幸治, 田中一彦, 平田純生, 和泉　智, 太田美由希, 安達真美, 古久保　拓, 出雲谷　剛, 金昌雄: 透析患者におけるジゴキシンの薬物間相互作用. 第 22 回日本臨床薬理学会, 2001

## 2002 年

**立山 芳久さん　優秀論文章受賞**
**第 58 回大阪透析研究会会誌**
**透析器の安全性評価**

**浦中 久さん　優秀論文章受賞**
**第 59 回大阪透析研究会会誌**
**透析排水 pH 調整装置の固形中和剤方式と薬液中和剤方式との比較**

131. 上西幸治, 田中一彦, 平田純生, 和泉　智, 太田美由希, 安達真美, 古久保　拓, 出雲谷　剛, 金昌雄: 透析患者におけるジゴキシンの薬物間相互作用. 第 23 回日本病院薬剤師会近畿学術大会, 2002.

132. 太田美由希, 平田純生, 和泉　智, 安達真美, 箱崎裕次, 山川智之, 金　昌雄, 田中一彦: 院内ネットワークにおける TDM データベースの作成. 第 23 回日本病院薬剤師会近畿学術大会, 2002.

133. 平田純生: 腎障害患者・透析患者における処方チェック、服薬指導のポイント.九州大学大学院薬学研究院臨床薬学講座・福岡市薬剤師会共催、九大・薬剤師会「育薬セミナー」特別講演 2002.

134. 平田純生:腎不全患者における薬物投与設計.宮崎県薬剤師会特別講演, 2002

135. 平田純生: 腎不全患者における薬物投与設計. 第 1 回北部九州腎と薬剤研究会特別講演, 2002.

136. 和泉　智,平田純生, 古久保　拓, 太田美由希, 安達真美, 大年辰幸, 山川智之, 金　昌雄, 田中一彦:第 23 報）CMRSA 腹膜炎に対し、テイコプラニンを投与した 1 症例. 第 58 回大阪透析研究会, 2002.

137. 高木賢太郎, 上西幸治, 平田純生, 和泉智, 古久保　拓, 太田美由希, 安達真美, 高良恒史, 大西憲明, 横山照由, 田中一彦:透析患者への TDM の有用性（第 24 報）血液透析膜への TDM 対象薬剤の吸着性に関する基礎的研究. 第 58 回大阪透析研究会, 2002.

138. 上西幸治,平田純生, 和泉　智, 古久保　拓,太田美由希, 安達真美, 高木賢太郎, 出雲谷　剛, 金昌雄, 田中一彦:透析患者への TDM の有用性（第 25 報）透析患者におけるジゴキシンと降圧薬との相互作用. 第 58 回大阪透析研究会, 2002.

139. 平田純生, 出雲谷剛, 段　由規彦, 本田友博, 和泉　智, 古久保　拓, 太田美由希, 安達真美, 家入一郎, 小薮紀子, 大谷壽一, 澤田康文:透析患者への TDM の有用性（第 26 報）透析患者における MDR1 遺伝子多型と血中ジゴキシン濃度の個人差. 第 58 回大阪透析研究会, 2002.

140. 古久保拓, 平田純生, 和泉　智,太田美由希, 安達真美, 小走佳司, 山川智之, 金　昌雄, 田中一彦: 透析患者への TDM の有用性（第 27 報）血清遊離型フェニトイン濃度モニタリング時の留意点. 第 58 回大阪透析研究会, 2002.

141. 太田美由希, 平田純生, 和泉　智,古久保拓, 安達真美, 山川智之, 金 昌雄, 田中一彦: 透析患者への TDM の有用性 （第 28 報）透析患者におけるバルプロ酸の有効治療域補正ノモグラム. 第 58 回大阪透析研究会, 2002.

142. 立山芳久, 中西秀紀, 岡林和美, 平田純生, 山本忠司, 山川智之, 金 昌雄: 透析器の安全性評価. 第 58 回大阪透析研究会, 2002. 立山芳久さん優秀論文賞受賞

143. 段　由規彦, 平田純生, 本田友博, 出雲谷剛, 小薮紀子, 大谷壽一, 澤田康文: 透析患者におけるジゴキシン血中濃度の個人差と MDR1 遺伝子多型との関連性の検討. 第 18 回日本薬学会 121 年会, 2002

144. 平田純生: 腎不全の薬物動態的特徴と TDM の臨床応用. 第 19 回日本 TDM 学会ランチョンセミナー, 2002.

145. 段　由規彦, 平田純生, 本田友博, 出雲谷剛, 小薮紀子, 大谷壽一, 澤田康文: 透析患者におけるジゴキシン血中濃度の個人差と MDR1 遺伝子多型との関連性の検討.第 19 回日本 TDM 学会, 2002.

146. 上西幸治, 平田純生, 高木賢太郎, 和泉　智, 太田美由希, 安達真美, 古久保　拓, 出雲谷　剛, 金　昌雄, 田中一彦: 透析患者におけるジゴキシンと降圧薬の相互作用. 第 19 回日本 TDM 学会, 2002.

147. 高木賢太郎, 上西幸治,古久保　拓, 平田純生, 和泉智, 太田美由希, 安達真美, 高良恒史, 大西憲明, 横山照由, 金 昌雄, 田中一彦: 血液透析膜への TDM 対象薬剤の吸着性に関する基礎的研究. 第 19 回日本 TDM 学会, 2002.

148. 和泉　智, 平田純生, 古久保拓, 安達真美, 太田美由希,大年辰幸, 金　昌雄, 田中一彦:透析患者の MRSA 腹膜炎に対し、テイコプラニンの TDM を実施した 1 症例. 第 19 回日本 TDM 学会, 2002.

149. 平田純生: 腎不全における服薬指導～薬物動態と投与設計～. 第 11 回神戸薬科大学リカレントセミナー, 2002

150. 古久保拓, 平田純生, 安達真美, 太田美由希, 和泉　智, 金　昌雄:透析患者における経口アシクロ

ビル中毒. 医療薬学フォーラム 2002. 第 10 回クリニカルファーマシーシンポジウム, 2002.

151. 安達真美, 平田純生, 和泉　智, 古久保拓, 太田美由希, 平井みどり, 和田 敦, 水口洋平: 透析患者の一般医薬品、健康補助食品の摂取状況. 第 10 回クリニカルファーマシーシンポジウム, 2002.

152. 平田純生, 段　由規彦, 出雲谷剛, 和泉　智, 家入一郎, 大谷壽一, 澤田康文: 透析患者における MDR1 遺伝子多型と血清ジゴキシン濃度の個人差. 第 47 回日本透析医学会, 2002.

153. 平田純生: 慢性腎不全治療における薬剤師の関わり. 第 47 回日本透析医学会ワークショップ「透析医療とクリニカルパスの有用性」, 2002.

154. 太田美由希, 平田純生, 和泉　智, 古久保拓, 安達真美, 山川智之, 金 昌雄, 田中一彦: 透析患者におけるバルプロ酸の蛋白結合率低下を予測するためのノモグラム. 第 47 回日本透析医学会, 2002.

155. 平田純生: 腎障害と感染症～薬剤師としてできること～. 第 13 回関西腎と薬剤研究会特別講演, 2002.

156. 平田純生: 透析患者の薬物療法における問題点と対応. 武庫川女子大学第 21 回薬学講座, 2002.

157. 平田純生, 和泉　智, 古久保拓, 太田美由希, 安達真美, 藤田みのり, 出雲谷剛, 金　昌雄: ジゴキシン半減期が異常延長した 3 透析症例. 第 59 回大阪透析研究会, 2002.

158. 古久保拓, 平田純生, 和泉　智, 太田美由希, 安達真美, 藤田みのり,金　昌雄:透析患者に対するバラシクロビルの適正投与法に関する検討. 第 59 回大阪透析研究会, 2002.

159. 上西幸治, 平田純生, 和泉　智, 古久保　拓, 太田美由希, 藤田みのり, 安達真美, 浦田元樹, 出雲谷　剛, 金　昌雄, 田中一彦:Lean body mass を用いた透析患者におけるジゴキシンの投与設計は可能か？第 59 回大阪透析研究会, 2002.

160. 浦田元樹, 上西幸治, 平田純生, 和泉 智, 古久保　拓, 安達真美, 太田美由希,藤田みのり, 金昌雄, 田中一彦:血液透析膜へのアミノ配糖体系抗生物質の吸着性に関する基礎的研究. 第 59 回大阪透析研究会, 2002.

161. 浦中 久, 森山真一, 高田茂和, 加藤禎一, 立山芳久, 岡林和美, 平田純生, 金 昌雄: 透析排水 pH 調整装置の固形中和剤方式と薬液中和剤方式との比較. 第 59 回大阪透析研究会, 2002.

浦中 久さん優秀論文賞受賞

162. 古久保拓: TDM の基礎と臨床応用～現場で役立つ薬物動態学とは～. 第 11 回神戸薬科大学リカレントセミナー, 2002.

163. 平田純生: ＴＤＭの実践と薬物投与計画～臨床に生かせる TDM の具体例～. 第 11 回神戸薬科大学リカレントセミナー, 2002.

164. 和泉　智, 平田純生, 太田美由希,古久保拓, 安達真美, 箱崎裕次, 山川智之, 金　昌雄: 患者別禁忌薬管理システム. 第 13 回日本医療薬学会, 2002.

165. 平田純生, 和泉　智, 太田美由希, 安達真美, 出雲谷剛, 金　昌雄, 段由規彦, 梅谷俊輝, 大谷壽一, 澤田康文: ジゴキシン半減期が異常延長した透析症例. 第 13 回日本医療薬学会, 2002.

166. 水口洋平, 平井みどり, 和田 敦, 平田純生, 安達真美, 金 啓二, 井関 健, 平野 剛, 多田憲司, 高市和之, 中村峰夫, 井藤達也, 竹本 功: 透析患者における健康食品使用の実態調査. 第 13 回日本医療薬学会, 2002.

167. 荒平光利, 丸山　徹, 吉田健二, 前田敦司, 岡山善郎, 小田切優樹, 平田純生: 臨床検査値を用いた能動的調剤薬局業務の推進（腎機能検査値）第 35 回日本薬剤師学術大会, 2002 .

168. 平田純生: 有効かつ安全な薬物療法を責任もって提供できる薬剤師をめざして. 熊本県病院薬剤師会　中堅薬剤師研究会, 2002

169. 平田純生，梅谷俊輝，段由規彦，和泉　智，古久保拓，太田美由希，安達真美，出雲谷剛，金　昌雄，大谷壽一，澤田康文: 透析患者にジゴキシンとクラリスロマイシンを併用すべきではない.第 23 回日本臨床薬理学会, 2002.

170. 上西幸治，平田純生，和泉　智，古久保　拓，太田美由希，藤田みのり，浦田元樹，出雲谷　剛，金　昌雄，田中一彦: 透析患者における LBM を用いたジゴキシンの投与設計は可能か？第 23 回日本臨床薬理学会, 2002

171. 古久保 拓，平田純生,太田美由希，安達真美，藤田みのり,和泉 智，金 昌雄:　透析患者に対するバラシクロビルの適正投与法に関する検討. 第 23 回日本臨床薬理学会, 2002.

## 2003 年

**医療薬学フォーラム 2003 優秀ポスター賞受賞**

**第 11 回クリニカルファーマシーシンポジウム**

**透析患者の多施設共同降圧薬処方実態調査**

172. 平田純生，和泉　智，古久保拓，太田美由希，藤田みのり，出雲谷剛，金　昌雄，長谷川功，段由規彦，梅谷俊輝，大谷壽一，澤田康文: 透析患者にジゴキシンとクラリスロマイシンを併用すべきではない.第 24 回日本病院薬剤師会近畿学術大会, 2003.

173. 古久保 拓，平田純生，　藤田みのり，太田美由希，和泉 智: 副作用管理システムの構築とその運用. 第 24 回日本病院薬剤師会近畿学術大会, 2003.

174. 上西幸治，浦田元樹，平田純生，和泉　智,古久保　拓，太田美由希，藤田みのり，出雲谷　剛，金昌雄，田中一彦: 透析患者における LBM を用いたジゴキシンの投与設計は可能か？第 24 回日本病院薬剤師会近畿学術大会, 2003.

175. 浦田元樹，上西幸治，平田純生，和泉智，古久保　拓，太田美由希，藤田みのり，田中一彦: 透析膜へのアルベカシンの吸着性に関する検討. 第 24 回日本病院薬剤師会近畿学術大会, 2003.

176. 藤田みのり，平田純生，和泉　智，古久保拓，太田美由希，水口洋平，和田 敦，平井みどり，金昌雄:　透析患者における OTC 薬・健康食品の使用に関する調査. 第 24 回日本病院薬剤師会近畿学術大会, 2003.

177. 真鍋友美，局　裕美子，花田真美，藪内亜史彦，中島千鶴，平田純生: アルベカシンの TDM 実施 3 症例と今後の課題. 第 24 回日本病院薬剤師会近畿学術大会, 2003.

178. 原田敬子，奥平由子，閑田なるみ，安田英煥，小野 秀，上野信之，平田純生: 胆汁排泄型 $H_2$ 拮抗薬ラフチジン（プロテカジン®）によって精神神経症状をきたした 2 透析症例. 第 60 回大阪透析研究会, 2003.

179. 藤田みのり，平田純生，和泉　智，太田美由希，古久保拓，山川智之，金　昌雄，田中一彦: 透析患者における OTC 薬・健康食品の使用に関する調査. 第 60 回大阪透析研究会, 2003.

180. 浦田元樹，平田純生，和泉智，古久保　拓，太田美由希，藤田みのり，田中一彦: 血液透析膜へのアルベカシンの吸着メカニズムに関する検討. 第 60 回大阪透析研究会, 2003.

181. 古久保 拓, 平田純生, 和泉 智, 太田美由希, 藤田みのり, 山川智之, 金 昌雄: 腎障害患者におけるフルコナゾールの体内動態に関する検討. 第 60 回大阪透析研究会, 2003.

182. 平田純生, 和泉 智, 古久保拓, 太田美由希, 藤田みのり, 出雲谷 剛, 長谷川 功, 山川智之, 金昌雄: 透析患者にジゴキシンとクラリスロマイシンを併用すべきではない. 第60回大阪透析研究会, 2003.

183. 古久保 拓, 平田純生,和泉 智, 太田美由希, 藤田みのり,腎障害患者におけるフルコナゾールの体内動態に関する検討. 日本薬学会 123 年会, 2003.

184. 藤田みのり, 平田純生, 和泉 智, 太田美由希, 古久保拓, 金 昌雄, 平井みどり: 透析患者における OTC 薬・健康食品の使用に関する調査. 日本薬学会 123 年会, 2003.

185. 浦田元樹, 平田純生, 和泉智, 古久保 拓, 太田美由希, 藤田みのり, 田中一彦: 血液透析膜に対するアルベカシンの吸着性の検討.日本薬学会 123 年会, 2003.

186. 平田純生, 大森俊治, 谷脇愛実, 三宅健文: 透析患者の降圧薬使用実態調査. 第 48 回日本透析医学会ワークショップ「透析者の脳・心合併症防止～QOL 保持からみた高血圧管理～」, 2003.

187. 平田純生: 透析患者におけるジゴキシンの相互作用およびその適正使用. 第 48 回日本透析医学会ワークショップ「透析患者に対する薬物の適正投与法」, 2003.

188. 和泉 智: 透析患者の副作用モニタリングの有用性. 第 48 回日本透析医学会ワークショップ「透析患者に対する薬物の適正投与法」, 2003.

189. 浦田元樹, 平田純生, 和泉智, 古久保 拓, 太田美由希, 藤田みのり, 田中一彦: 血液透析膜へのアルベカシンの吸着性の検討. 第 48 回日本透析医学会, 2003.

190. 浦田元樹, 平田純生, 和泉智, 古久保 拓, 太田美由希, 藤田みのり, 田中一彦: 血液透析膜へのアルベカシンの吸着性の検討. 第 20 回日本 TDM 学会, 2003.

191. 藤田みのり, 平田純生, 和泉智, 古久保 拓, 太田美由希: リクセル使用により血清ジゴキシン濃度が変化しなかった 1 症例. 第 20 回日本 TDM 学会, 2003.

192. 平田純生, 大森俊治, 谷脇愛実, 三宅健文, 山澤紀子, 閑田なるみ, 原田敬子, 大里恭章, 山岡美紅, 長浜文子, 木村 健, 増田博也, 池上英文, 太田美由希, 藤田みのり:透析患者の多施設共同降圧薬処方実態調査. 医療薬学フォーラム 2003. 第 11 回クリニカルファーマシーシンポジウム, 2003.
医療薬学フォーラム 2003 優秀ポスター賞受賞

193. 太田美由希, 平田純生, 和泉 智, 古久保拓, 藤田みのり, 山川智之, 金 昌雄: 腎外来・腎不全教室における患者教育. 医療薬学フォーラム 2003. 第 11 回クリニカルファーマシーシンポジウム, 2003.

194. 藤田みのり, 平田純生, 和泉智, 古久保 拓, 太田美由希, 山川智之:リクセル使用により血清ジゴキシン濃度が変化しなかった 1 症例. 第 61 回大阪透析研究会, 2003.

195. 平田純生, 大森俊治, 谷脇愛実, 三宅健文, 山澤紀子, 閑田なるみ, 原田敬子, 大里恭章, 山岡美紅, 長浜文子, 木村 健, 増田博也, 池上英文, 太田美由希, 藤田みのり: 透析患者の降圧薬使用状況に関する大規模調査. 第 61 回大阪透析研究会, 2003.

196. 浦田元樹, 平田純生, 和泉智, 古久保 拓, 太田美由希, 藤田みのり, 西原 舞, 田中一彦, 山川智之: 各種アミノグリコシド系抗生物質の透析膜への吸着性. 第 61 回大阪透析研究会, 2003.

197. 西原 舞,平田純生, 和泉智, 古久保 拓, 太田美由希, 藤田みのり,浦田元樹,田中一彦, 山川智之: Rome II アンケートによる透析患者の腸疾患の実態. 第 61 回大阪透析研究会, 2003.

198. 平田純生, 大森俊治, 谷脇愛実, 三宅健文, 山澤紀子, 閑田なるみ, 原田敬子, 大里恭章, 山岡美紅,

長浜文子，木村 健，増田博也，池上英文，太田美由希，藤田みのり：透析患者の降圧薬処方実態調査と処方医へのアンケート．第 14 回日本医療薬学会, 2003.

199. 平田純生：パネルディスカッション「薬物動態からみた医師の処方・薬剤師の処方介入」― 薬剤師の立場より ―この処方に対してあなたはどのように対処しますか？第 9 回関西臨床薬物療法研究会, 2003.

200. 古久保 拓，平田純生,和泉　智，太田美由希，藤田みのり，山川智之：血液透析患者に対するアシクロビル静脈内投与時の体内動態と副作用発現の関連．第 24 回臨床薬理学会年会, 2003.

## 2004 年

**古久保 拓さん　優秀論文章受賞**
**第 62 回大阪透析研究会**
**透析患者におけるアシクロビル体内動態と有害作用発現の関連性**

**西原 舞さん　優秀論文章受賞**
**第 63 回大阪透析研究会**
**透析患者における虚血性腸炎発症のリスクファクター**

201. 平田純生，和泉　智，古久保拓，太田美由希，藤田みのり，奥野仙二，山川智之：病院薬剤師による医学部 6 年生に対する臨床薬学教育．第 25 回日本病院薬剤師会近畿学術大会, 2004.

202. 西原 舞，平田純生，和泉智，古久保　拓，太田美由希，藤田みのり，浦田元樹，田中一彦，山川智之：透析患者の Rome Ⅱアンケートによる腸疾患の実態．第 25 回日本病院薬剤師会近畿学術大会, 2004.

203. 古久保 拓，平田純生,和泉　智，太田美由希，藤田みのり，山川智之:透析患者におけるアシクロビル体内動態と有害作用発現の関連性.第 25 回日本病院薬剤師会近畿学術大会, 2004.

204. 原田敬子，奥平由子，閑田なるみ，平田純生：胆汁排泄型 H2 拮抗薬ラフチジンによって精神神経症状をきたした 2 透析症例.第 25 回日本病院薬剤師会近畿学術大会, 2004.

205. 閑田なるみ，奥平由子，原田敬子，山澤紀子，平田純生：プロパフェノンによりジゴキシン血中濃度が上昇したと思われる腎不全例．第 25 回日本病院薬剤師会近畿学術大会, 2004.

206. 西川 翠，平田純生，和泉智，古久保　拓，太田美由希，藤田みのり，西原 舞，松永千春，高良恒史、大西憲明、横山照由：透析患者におけるテイコプラニン遊離型濃度測定上の問題点.. 第 62 回大阪透析研究会, 2004.

207. 平田純生，和泉　智，古久保拓，太田美由希，藤田みのり，山川智之：分布容積の大きい薬物の中毒には血液浄化法は有効か？第 62 回大阪透析研究会, 2004.

208. 古久保 拓，平田純生,和泉　智，太田美由希，藤田みのり，山川智之:透析患者におけるアシクロビル体内動態と有害作用発現の関連性．第 62 回大阪透析研究会，2004.　古久保 拓さん優秀論文賞受

賞

209. 太田美由希，和泉智，古久保　拓，太田美由希，藤田みのり:塩酸アマンタジンによる中毒症状が疑われた 1 透析症例．第 62 回大阪透析研究会, 2004.

210. 川村瑞己，加藤禎一，浦中　久，高田茂和，南　伸治，岡林和美，平田純生，前川きよし，山川智之: 親水化 PEPA 膜ダイアライザーFDY-15GW の性能評価.第 62 回大阪透析研究会, 2004.

211. 西原 舞，平田純生，和泉智，古久保　拓，太田美由希，藤田みのり，浦田元樹，山川智之，田中一彦: 透析患者の Rome II アンケートによる便秘症の実態調査．日本薬学会 124 年会, 2004.

212. 浦田元樹，平田純生，和泉智，古久保　拓，太田美由希，藤田みのり，西原 舞，田中一彦，山川智之: Ainoglycoside の透析膜への吸着性に関する基礎研究．日本薬学会 124 年会, 2004.

213. 平田純生，和泉　智，古久保拓，太田美由希，藤田みのり，山川智之: 分布容積の大きい腎排泄性薬物の中毒治療としての血液浄化法は有効か？日本薬学会 124 年会, 2004.

214. 内橋伸介，勝本千恵，西堀崇子，廣谷芳彦，平田純生，平井みどり: クラリスロマイシンの肝細胞 P-糖蛋白質に及ぼす影響．日本薬学会 124 年会, 2004.

215. 辻本雅之，平田純生，出雲谷剛，大谷壽一，澤田康文: 末期腎不全患者におけるジゴキシン血中濃度の個人差と OATP8 遺伝子多型の関係.日本薬学会 124 年会, 2004.

216. 平田純生: 透析患者の便秘は単なる便秘ではない．第 21 回関西腎と薬剤研究会教育講演, 2004

217. 平田純生: 各種アミノグリコシド系抗生物質の透析膜への吸着性.日本感染症学会, 2004.

218. 平田純生: 薬剤師が薬剤師らしい仕事をするために．平成 16 年度大阪薬科大学同窓会総会講演会, 2004.

219.　西川 翠，平田純生，和泉智，古久保　拓，太田美由希，藤田みのり，西原 舞，松永千春，高良恒史、大西憲明、横山照由: 透析患者におけるテイコプラニン遊離型濃度測定上の問題点．第 21 回日本 TDM 学会, 2004.

220. 平田純生，和泉智，古久保　拓，太田美由希，藤田みのり，山川智之: 血液透析による薬物除去率に影響する要因．第 21 回日本 TDM 学会, 2004.

221. 平田純生:ランチョンセミナー「透析患者への薬物療法適性使用～ここがポイント～」第 49 回日本透析医学会, 2004.

222. 平田純生:ワークショップ「透析患者への薬物療法適性化と服薬指導」透析患者の薬物動態の変化．第 49 回日本透析医学会, 2004.

223. 古久保　拓:ワークショップ「透析患者への薬物療法適性化と服薬指導」透析患者における副作用発現とその対策．第 49 回日本透析医学会, 2004.

224. 西原 舞，平田純生，和泉智，古久保　拓，太田美由希，藤田みのり，山川智之，田中一彦: Rome II アンケートによる透析患者の便秘症の実態調査．第 49 回日本透析医学会, 2004.

225. 平田純生，和泉智，古久保　拓，太田美由希，藤田みのり，山川智之: 塩酸セベラマーの便秘発症と下剤による便秘予防効果の検討.第 49 回日本透析医学会, 2004.

226. 平田純生，和泉　智，古久保拓，太田美由希，藤田みのり，奥野仙二，山川智之: 一般病院の薬剤師による医学部 6 年生に対する臨床薬学教育．医療薬学フォーラム 2004．第 12 回クリニカルファーマシーシンポジウム, 2004

227. 松永千春，平田純生，和泉　智，古久保拓，太田美由希，藤田みのり，奥野仙二，山川智之，内田享弘: 炭酸カルシウム服用者の胃酸分泌抑制剤併用による血清 Ca・P 値に及ぼす影響．医療薬学フォーラム 2004．第 12 回クリニカルファーマシーシンポジウム, 2004.

228. 平田純生: 腎障害患者における薬物療法. 九州大学薬学部公開講座, 2004.
229. 平田純生: 透析患者の感染症に対する薬物療法. 福岡県透析医会第 2 回感染症対策学術講演会, 2004.
230. 松永千春, 平田純生, 和泉　智, 古久保拓, 太田美由希, 藤田みのり, 奥野仙二, 山川智之, 内田享弘: 炭酸カルシウム服用者の塩酸分泌抑制剤併用による血清 Ca・P 値に及ぼす影響. 大阪透析研究会, 2004.
231. 平田純生: 塩酸セベラマー投与による便秘発症予防のための下剤併用法. ランチョンセミナー「塩酸セベラマーの実態」第 63 回大阪透析研究会, 2004.
232. 西原 舞, 平田純生, 和泉 智, 古久保 拓, 太田美由希, 藤田みのり, 山川智之, 田中一彦:透析患者における虚血性腸炎発症のリスクファクター. 第 63 回大阪透析研究会, 2004.　西原 舞さん優秀論文賞受賞
233. 重田久美子, 黒田昌弘, 松岡秀和, 是田あゆみ, 内田麻希, 松本哲治, 岡林和美, 平田純生, 山川智之: 初期設計ミスの早期発見の検討～チェック体制の見直し～.第 63 回大阪透析研究会, 2004.
234. 平田純生, 藤田みのり, 和泉智, 古久保　拓, 太田美由希, 西川 翠,田中一彦, 山川智之: 塩酸セベラマーによる便秘に対する下剤の適正投与法. 第 14 回日本医療薬学会, 2004.
235. 西原 舞, 平田純生, 和泉智, 古久保　拓, 太田美由希, 藤田みのり, 山川智之: 透析患者における虚血性腸炎発症のリスクファクター. 第 14 回日本医療薬学会, 2004.
236. 平田純生: リンを下げる薬ののみ方－ここがポイント. 第 4 回市民シンポジウム「腎臓病を考える－透析とリン－長生きのひけつ」, 2004.
237. 平田純生: 腎不全患者における抗菌薬の体内動態に基づいた投与設計. 第 52 回日本化学療法学会西日本支部総会シンポジウム, 2004.
238. 平田純生: 日常診療における薬剤適正使用. 第 10 回関西臨床薬物療法研究会基調講演. 2004.

## 2005 年

239. 松永千春, 平田純生, 和泉　智, 古久保拓, 太田美由希, 藤田みのり, 奥野仙二, 山川智之, 内田享弘: 炭酸カルシウム服用者の $H_2$ ブロッカー又は PPI 併用による血清リン値への影響. 第 26 回日本病院薬剤師会近畿学術大会, 2005.
240. 西原 舞, 平田純生, 和泉智, 古久保　拓, 太田美由希, 藤田みのり, 山川智之, 田中一彦: 透析患者における虚血性腸炎に関する検討. 第 26 回日本病院薬剤師会近畿学術大会, 2005.
241. 西川 翠, 平田純生, 和泉 智, 古久保 拓, 太田美由希, 藤田みのり, 高良恒史、大西憲明、横山照由: 透析患者における抗 MRSA 薬の臨床効果に影響する因子の検討. 第 26 回日本病院薬剤師会近畿学術大会, 2005.
242. 藤田みのり, 平田純生, 和泉智, 古久保　拓, 太田美由希, 泉晶子, 桐山恵理子, 岸本百代, 久郷泰裕, 山川智之: 透析患者におけるリンに関する意識調査. 第 26 回日本病院薬剤師会近畿学術大会, 2005.
243. 平田純生, 藤田みのり, 和泉智, 古久保　拓, 太田美由希, 山川智之: 塩酸セベラマーによる便秘を防ぐには. 第 26 回日本病院薬剤師会近畿学術大会, 2005.

244. 西川 翠, 平田純生, 和泉 智, 古久保 拓, 太田美由希, 藤田みのり, 高良恒史, 大西憲明, 横山照由, 山川智之: 透析患者における MRSA 感染症の予後に影響する因子の検討. 第 64 回大阪透析研究会, 2005.

245. 藤田みのり, 平田純生, 和泉智, 古久保　拓, 太田美由希, 泉 晶子, 桐山恵理子, 岸本百代, 久郷泰裕, 山川智之: 透析患者におけるリンに関する意識調査と血清リン濃度の関係. 第 64 回大阪透析研究会, 2005.

246. 平田純生, 和泉智, 古久保　拓, 太田美由希, 藤田みのり, 山川智之: 血液透析による薬物除去率に影響する要因. 第 64 回大阪透析研究会, 2005.

247. 根来早紀子, 平田純生, 和泉智, 古久保　拓, 太田美由希, 藤田みのり, 石渡俊二, 池川繁男, 山川智之: CYP3A4 誘導剤である VD3 の Ca 拮抗薬の降圧作用に及ぼす影響. 第 64 回大阪透析研究会, 2005.

248. 古久保 拓, 和泉 智, 太田美由希, 藤田みのり, 平田純生, 井上 智勝, 平中俊行, 山川智之: 血液透析用カテーテル関連感染症のサーベイランス. 第 64 回大阪透析研究会, 2005.

249. 平田純生, 上野和行, 和泉智, 古久保　拓, 太田美由希, 藤田みのり: 薬物の透析性を予測するための fu/Vd（遊離型分率/分布容積）値の有用性. 日本薬学会 125 年会, 2005.

250. 根来早紀子, 平田純生, 和泉智, 古久保　拓, 太田美由希, 藤田みのり, 山川智之, 池川繁男: 透析患者における活性型ビタミン D と Ca 拮抗薬の相互作用に関する検討.日本薬学会 125 年会, 2005.

251. 西川 翠, 平田純生, 和泉智, 古久保　拓, 太田美由希, 藤田みのり, 高良恒史、大西憲明、横山照由, 山川智之: 透析患者における MRSA 感染症の予後に影響する因子の検討. 日本薬学会 125 年会, 2005.

252. 川口博資, 平田純生, 和泉智, 古久保　拓, 藤田みのり, 松永千春, 田中一彦, 山川智之: 透析患者における抗 MRSA 薬の TDM.第 22 回日本 TDM 学会, 2005.

253. .平田純生:ランチョンセミナー「腎不全患者における薬剤選択と至適投与量設定のポイント」第 50 回日本透析医学会, 2005.

254. 平田純生:イヴニングセミナー「塩酸セベラマーによる便秘とその対策」第 50 回日本透析医学会, 2005.

255. 平田純生:50 回記念座談会「薬剤師として～現在と近未来－各職種としての展望～第 50 回日本透析医学会, 2005.

256. 松永千春, 平田純生, 和泉　智, 古久保拓, 藤田みのり, 奥野仙二, 山川智之: 炭酸カルシウム服用者の塩酸分泌抑制剤併用による血清 Ca・P 値に及ぼす影響. 第 50 回日本透析医学会, 2005.

257. 川口博資, 平田純生, 和泉智, 古久保　拓, 太田美由希, 藤田みのり, 松永千春, 田中一彦,山川智之: 透析患者における MRSA 感染症の予後に影響する因子の検討. 第 50 回日本透析医学会, 2005.

258. 泉 晶子, 藤田みのり, 平田純生, 和泉智, 古久保　拓, 松永千春, 桐山恵理子, 岸本百代, 久郷泰裕, 山川智之: 透析患者におけるリンに関する意識調査と血清リン濃度の関係. 医療薬学フォーラム 2005. 第 13 回クリニカルファーマシーシンポジウム, 2005.

259. 和泉智, 太田美由希, 平田純生, 古久保　拓, 藤田みのり, 松永千春,　山川智之: 医薬品添加物におけるアルミニウム（Al）含有量に関する検討. 医療薬学フォーラム 2005. 第 13 回クリニカルファーマシーシンポジウム, 2005.

260. 安田江里,平田純生, 和泉　智, 古久保拓, 藤田みのり, 松永千春, 長澤一樹, 藤本貞毅, 山川智之: リン吸着薬の吸着特性および乳飲料中のリン除去に対する効果. 医療薬学フォーラム 2005.　第 13

回クリニカルファーマシーシンポジウム, 2005.

261. 木下由梨, 辻本雅之, 伊藤壽和子, 平田純生, 大谷壽一, 小田切優樹, 大戸茂弘, 澤田康文: 末期腎不全患者血清処置によるトランスポーター輸送機能の変動について. 第 32 回九重セミナー, 2005

262. 和泉智, 太田美由希, 平田純生, 古久保　拓, 藤田みのり, 松永千春,　山川智之: 医薬品添加物におけるアルミニウム（Al）含有量に関する検討. 第 65 回大阪透析研究会, 2005.

263. 安田江里, 平田純生, 和泉　智, 古久保拓, 藤田みのり, 松永千春, 長澤一樹, 藤本貞毅, 山川智之: 高リン飲料のリン含量を低下させる試み. 第 65 回大阪透析研究会, 2005.

264. 川口博資, 平田純生, 和泉智, 古久保　拓, 藤田みのり, 松永千春, 田中一彦, 山川智之: 透析患者における抗 MRSA 薬の TDM. 第 65 回大阪透析研究会, 2005.

265. 泉 晶子, 藤田みのり, 平田純生, 和泉智, 古久保　拓, 松永千春, 桐山恵理子, 岸本百代, 久郷泰裕, 山川智之: 透析患者におけるリンに関する意識調査と血清リン濃度の関係.日本薬剤師学会, 2005.

266. 藤田みのり, 平田純生, 和泉智, 古久保　拓, 松永千春, 泉 晶子, 桐山恵理子, 岸本百代, 久郷泰裕, 山川智之: 透析患者におけるリンに関する意識調査と血清リン濃度の関係. 第 15 回日本医療薬学会, 2005.

267. 古久保 拓, 和泉 智, 太田美由希, 藤田みのり,松永千春, 平田純生, 井上智勝, 平中俊行, 山川智之: 血液透析用カテーテル関連感染症のサーベイランス. 第 15 回日本医療薬学会, 2005.

268. 安田江里,平田純生, 和泉　智, 古久保拓, 藤田みのり, 松永千春, 長澤一樹, 藤本貞毅, 山川智之: 投与設計に必要な薬物動態パラメータの重要性～よりよい添付文書のあり方～第 15 回日本医療薬学会, 2005.

269. 木下由梨, 辻本雅之, 伊藤壽和子, 平田純生, 大谷壽一, 大戸茂弘, 澤田康文: 末期腎不全患者におけるジゴキシン－クラリスロマイシン相互作用に関する基礎的検討. 第 15 回日本医療薬学会, 2005.

## 2006 年

270. 安田江里,平田純生, 和泉　智, 古久保拓, 藤田みのり, 松永千春, 長澤一樹, 藤本貞毅, 山川智之: 投与設計に必要な薬物動態パラメータの重要性～よりよい添付文書のあり方～. 第 27 回日本病院薬剤師会近畿学術大会, 2006.

271. 平田純生: これだけは知っておきたい腎障害時の薬物投与設計. 第 23 回日本 TDM 学会・学術大会教育講演, 2006

272. 門脇大介, 福山めぐみ, 市川康子, 若松志保, 森山祐輔, 丸山 徹, 渡邊博志, 平田純生: 腎機能評価における MDRD 式と Cockcroft-Gault 式の比較検討. 第 69 回九州山口薬学大会, 2006

273. 陣上祥子, 山野朋子, 福永栄子, 平田純生, 入江徹美: 塩酸バンコマイシンの初期投与法設定用ノモグラムの作成と有用性評価. 第 16 回日本医療薬学会年会, 2006

274. 門脇大介, 福山めぐみ, 若松志保, 市川康子, 森山祐輔, 平田純生:クレアチニンクリアランス予測式の比較検討. 第 16 回日本医療薬学会年会, 2006

## 2007 年

275. 平田純生: 薬剤師も薬学部も変わらなくては～顔の見えない薬剤師よさらば～。シンポジウム「薬剤師新時代に向けて～国内からのメッセージ～」第 27 回日本病院薬剤師会近畿学術大会, 2007.
276. 平田純生: 薬物適正使用のツールとしての血中薬物濃度測定の意義. モーニングセッション 2「透析患者における TDM（血中薬物濃度測定）の有用性」第 52 回日本透析医学会, 2007.
277. 平田純生: 透析患者における PK/PD に基づいた抗菌薬投与. 第 52 回日本透析医学会パネルディスカッション, 2007.
278. 古場清貴, 狩野美香, 濟川, 門脇大介, 平田純生: 血液透析による薬物除去率に影響する要因. 第 52 回日本透析医学会, 2007.
279. 平田純生: 慢性腎臓病患者への薬物適正使用. 第 50 回日本腎臓学会学術総会ランチョンセミナー, 2007
280. 平田純生: 薬物中毒における血液浄化法の薬物動態的評価. 第 29 回日本中毒学会総会・学術集会教育講演, 2007
281. 平田純生: 代謝物を考慮した腎臓病の TDM. 第 24 回 TDM 学会・学術大会シンポジウム, 2007
282. 古場清貴, 狩野美香, 濟川聡美, 門脇大介, 平田純生: 血液透析による薬物除去率は薬物動態パラメータによって予測可能か？. 第 70 回九州山口薬学大会, 2007.
283. 濟川聡美, 狩野美香, 古場清貴, 門脇大介, 平田純生: 添付文書の「腎に関わる禁忌」薬物の使用実態とその表現の適正化の検討. 第 70 回九州山口薬学大会, 2007.
284. 狩野美香, 濟川聡美, 古場清貴, 門脇大介, 平田純生: 薬物中毒に対する血液浄化法の有効性についての検討. 第 70 回九州山口薬学大会, 2007.
285. 門脇大介, 安楽 誠, 丸山 徹, 小田切優樹, 平田純生: 高血圧治療薬オルメサルタンの抗酸化作用. 第 70 回九州山口薬学大会, 2007.
286. 山下まゆ子, 市川康子, 関上泰二, 門脇大介, 平田純生: ボリコナゾール投与による用量依存的な肝障害を認めた C.lusitanie, C.Krusei による真菌血症. 第 50 回日本感染症学会中日本地方学術集会・第 55 回日本化学療法学会西日本支部総会, 2007
287. 平田純生, 和泉 智, 三宅健文, 鎌田直博, 宮村重幸, 竹内裕紀, 長谷川 功: 学術第 7 章委員会報告. 高齢者および慢性腎臓病患者への適正な薬物療法に関する調査・研究～重篤な腎障害に関する禁忌薬物に関する調査. 平成 19 年度病院薬局協議会, 2007
288. 平田純生：慢性腎臓病（CKD）の管理と高齢者薬物療法. 第 17 回日本医療薬学会シンポジウム「高齢者における薬物療法のエビデンス」, 2007
289. 濟川聡美, 古場清貴, 狩野美香, 門脇大介, 平田純生: 添付文書の「腎に関わる禁忌」の表現と禁忌薬物使用実態の検討. 第 17 回日本医療薬学会 2007
290. 平田純生: 腎障害の薬物療法をよりよくするためのヒント. 第 1 回日本腎と薬剤研究会学術集会特別講演, 2007.
291. 平田純生: 薬剤師による服薬指導のパワー. 第 1 回日本腎と薬剤研究会学術集会シンポジウム, 2007.
292. 古場清貴, 狩野美香, 濟川聡美, 門脇大介, 竹澤真吾, 平田純生: 血液透析による薬物除去率予測

法についての検討. 第 1 回日本腎と薬剤研究会学術集会, 2007.

293. 濟川聡美, 古場清貴, 狩野美香, 門脇大介, 平田純生: 「腎に関わる禁忌」薬物の問題点と臨床使用状況. 第 1 回日本腎と薬剤研究会学術集会, 2007.

294. 狩野美香, 陣上祥子, 濟川聡美, 古場清貴, 門脇大介, 福永栄子, 平田純生: バンコマイシン投与設計時における MDRD 式およびその他の腎機能算出式の適合性に関する検討. 第 1 回日本腎と薬剤研究会学術集会, 2007.

295. 門脇大介, 狩野美香, 濟川聡美, 古場清貴, 平田純生: テーマ未定. 第 1 回日本腎と薬剤研究会学術集会, 2007.

296. 平田純生: 慢性腎臓病（CKD）患者の薬物療法. 第 28 回日本臨床薬理学会年会教育講演, 2007

297. 狩野美香, 陣上祥子, 濟川聡美, 古場清貴, 門脇大介, 福永栄子, 平田純生: 日本人向け MDRD 式によるバンコマイシン投与設計の妥当性. 第 28 回日本臨床薬理学会年会, 2007.

298. 鳩嵜大介, 辻本雅之, 川岸弘季, 久保佐千子，福田有希子，小田切優樹 ，平田純生 ，高良恒史，横山照由: 肝及び消化管におけるプラバスタチン解毒機構に及ぼす透析患者血清長期暴露の影響. 第 28 回日本臨床薬理学会年会, 2007.

299. 樋口敬史、辻本雅之、志摩大介、長澤祥子、横田人士、小田切優樹、平田純生、高良恒史、横山照由: 肝消失型薬物ロサルタンの肝取り込み過程及び肝代謝過程に及ぼす慢性腎不全患者血清並びに有機アニオン性尿毒症物質の影響. 第 28 回日本臨床薬理学会年会, 2007.

## 2008 年

300. 平田純生: CKD を有する糖尿病患者における薬物適正使用. 第 51 回日本糖尿病学会年次学術集会, 腎臓病（CKD）シンポジウム 1 年の進歩, 2008

301. 濟川聡美, 古場清貴, 狩野美香, 門脇大介, 平田純生: 「腎に関わる禁忌」薬物の問題点と臨床使用状況. 第 51 回日本腎臓学会学術総会, 2008

302. 狩野美香, 陣上祥子, 濟川聡美, 古場清貴, 門脇大介, 福永栄子, 平田純生: バンコマイシン投与設計時における MDRD 式およびその他の腎機能算出式の適合性に関する検討. 第 51 回日本腎臓学会学術総会, 2008

303. 狩野美香、:陣上祥子、門脇大介、濟川聡美、古場:清貴、福永栄子、平田純生: バンコマイシン投与設計に対する MDRD 式の妥当性.第 24 回日本 TDM 学会・学術大会, 2008

304. 平田純生: 臨床に必要な TDM の基礎知識. 第 25 回日本 TDM 学会ベーシックレクチャー, 2008

305. 門脇大介, 平田純生: 不眠に対する薬物の使い方. 第 53 回日本透析医学会ワークショップ「腎不全患者への薬物適正使用を目指して」, 2008

306. 平田純生: 透析患者の薬物適正使用. 第 69 回大阪透析研究会特別講演, 2008

307. 平田純生: 薬剤性腎障害について. 医療薬学フォーラム/第 16 回日本クリニカルファーマシーシンポジウム, シンポジウム 1 慢性腎臓病（CKD）患者への薬物療法, 2008

308. 平田純生, 和泉 智, 三宅健文, 鎌田直博, 宮村重幸, 竹内裕紀, 長谷川 功: 学術第 7 章委員会報告. 高齢者および慢性腎臓病患者への適正な薬物療法に関する調査・研究～重篤な腎障害に関する禁忌

薬物に関する調査～第 2 報. 平成 20 年度病院薬局協議会, 2008

309. 清水克次, 中野文人, 上能由紀, 神原永長, 大里恭章, 木田好彦, 平田純生: ピルジカイニド塩酸塩による QT 延長をきたした慢性透析患者の一例. 第 18 回日本医療薬学会, 2008

310. 金井 優佳, 久木山厚子,田添 昇, 中山眞人, 池崎 信彦, 田中 元子, 平山 英雄, 甲斐 広文, 首藤 剛, 入江徹美, 江崎香菜子, 門脇大介, 平田純生: 炭酸カルシウム服用血液透析患者における血清リン値に対するプロトンポンプ阻害薬の影響と遺伝子多型の関係. 第 18 回日本医療薬学会, 2008

311. 江崎香菜子, 金井優佳, 狩野美香, 濟川聡美, 佐藤圭創, 石塚洋一, 入倉 充, 入江徹美, 門脇大介, 平田純生: 健常者による塩酸セベラマーとカルメロースの吸水性の検討. 第 18 回日本医療薬学会, 2008

312. 平田純生: 臨床現場で遭遇する薬物相互作用. 日本薬物動態学会第 23 回年会, フォーラム 2008, 2008

313. 平田純生: CKD 専門薬剤師の新たなる挑戦. 第 2 回日本腎と薬剤研究会学術大会会長講演, 2008

314. 平田純生: 腎不全とサプリメント. 第 2 回日本腎と薬剤研究会学術大会、, パネルディスカッション「CKD とサプリメントのよろず相談所」, 2008

315. 金井優佳, 久木山厚子, 田添 昇, 中山眞人, 池崎信彦, 田中元子, 平山英雄, 石松隆志,甲斐広文, 首藤 剛, 江崎香菜子, 門脇大介, 平田純生: 炭酸カルシウム服用血液透析患者における血清リン値に対するプロトンポンプ阻害薬の影響と遺伝子多型の関係. 第 2 回日本腎と薬剤研究会学術大会, 2008

316. 江崎香菜子, 金井優佳, 狩野美香, 濟川聡美, 佐藤圭創, 石塚洋一, 入倉 充, 入江徹美, 門脇大介, 平田純生: 塩酸セベラマーによる便秘モデルラットの作成および評価, 第 2 回日本腎と薬剤研究会学術大会, 2008

317. 草野充裕, 陣上祥子, 福永栄子, 田上順隆, 田宮彰子, 狩野美香, 済川聡美, 門脇大介, 平田純生: バンコマイシン投与設計における各種腎機能推算式の体表面積、体格補正の必要性についての検討. 第 2 回日本腎と薬剤研究会学術大会, 2008

318. 田宮彰子, 北畠恵美子, 藤山真木, 鬼崎信文, 田中元子, 伊藤和子, 松下和孝, 門脇大介, 平田純生: リン吸着薬服用透析患者への反復服薬指導による血清リン値に対する影響. 第 2 回日本腎と薬剤研究会学術大会, 2008

## 2009 年

319. 門脇大介, 江崎香菜子, 金井優佳, 狩野美香, 濟川聡美, 佐藤圭創, 石塚洋一, 入倉 充, 入江徹美, 平田純生: 塩酸セベラマーによる便秘モデルラットの作成および評価. 日本薬学会年会第 129 年会, 2009 (京都国際会議場)

320. 平田純生, 田上順隆, 門脇大介, 西　一彦: 透析患者のドリペネムの薬物動態に基づく至適投与設計. 第 57 回日本化学療法学会総会, 2009 (6/3-5 ホテル日航東京)

321. 田上順隆, 門脇大介,竹澤真吾, 平田純生: 透析膜へのアミノグリコシド系抗菌薬の吸着による除去. 第 54 回日本透析医学会総会, 2009　(6/5,6,7 パシフィコ横浜)

322. 濟川聡美, 江崎香菜子, 狩野美香, 金井優佳, 門脇大介,平田純生: 腎不全ラットを用いたアセトア

ミノフェンの腎機能に及ぼす影響. 第 52 回日本腎臓学会学術総会,2009 (6/3,4 パシフィコ横浜)

323. 狩野美香, 古場清, 濟川聡美, 門脇大介, 竹澤真吾, 平田純生: 薬物の透析除去率予測式の検討. 第 52 回日本腎臓学会学術総会, 2009 (6/3,4 パシフィコ横浜)

324. 門脇大介, 草野充裕, 陣上祥子, 福永栄子, 田上順隆, 田宮彰子, 狩野美香, 済川聡美, 平田純生: バンコマイシン投与設計における各種腎機能推算式の体表面積、体格補正の必要性についての検討. 第 52 回日本腎臓学会学術総会, 2009 (6/3,4 パシフィコ横浜)

325. 田宮彰子, 北畠恵美子, 藤山真木, 鬼崎信文, 田中元子, 伊藤和子, 松下和孝, 門脇大介, 平田純生: リン吸着薬服用透析患者への反復服薬指導が血清リン値に与える影響. 第 54 回日本透析医学会総会, 2009 (6/5,6,7 パシフィコ横浜)

326. 古場清貴, 狩野美香, 竹澤真吾, 平田純生: 薬物の透析性は予測可能か？第 54 回日本透析医学会総会シンポジウム, 2009 (6/5,6,7 パシフィコ横浜)

327. 平田純生, 金井優佳, 久木山厚, 田添 昇, 中山眞人, 池崎信彦, 田中元子, 平山英雄, 石松隆志, 甲斐広文, 首藤 剛, 江崎香菜子, 門脇大介: 炭酸カルシウム服用透析患者のプロトンポンプ阻害薬併用における血清リン値に対する CYP2C19 遺伝子多型の影響. 第 54 回日本透析医学会総会, 2009 (6/5,6,7 パシフィコ横浜)

328. 西 一彦, 田上順隆, 門脇大介, 平田純生: 透析性を考慮した透析患者のドリペネムの至適投与設計. 第 54 回日本透析医学会総会, 2009 (6/5,6,7 パシフィコ横浜)

329. 平田純生: ランチョンセミナー「慢性腎臓病(CKD)患者における抗菌薬の TDM の留意点」第 26 回日本 TDM 学会･学術大会, 2009(6／13, 6／14 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター)

330. 平田純生: 症例から考える CKD 患者の薬物適正使用. 第 3 回日本腎と薬剤研究会学術大会会長講演 2009, 9／19(名古屋国際会議場)

331. 曽田彩夏, 長嶋美里, 濟川聡美, 狩野美香, 門脇大介, 平田純生: 塩酸セベラマーによる便秘と腎機能との関連性. 第 3 回日本腎と薬剤研究会学術大会 2009, 9／19(名古屋国際会議場)

332. 田上順隆, 西 一彦, 門脇大介, 平田純生: 透析性を考慮したドリペネムの至適投与設計. 第 3 回日本腎と薬剤研究会学術大会 2009, 9／19(名古屋国際会議場)

333. 平田純生：なぜ CKD が問題なのか？シンポジウム「CKD（慢性腎臓病）と薬物療法、そして薬剤師の関わり」. 第 19 回医療薬学会 2009, 10/24,25（長崎新聞文化ホール 2F 大ホール）

334. Koyama H, Fukuda S, Fujii H, Hirayama Y, Tabata T, Okamura M, Yamakawa T, Okada S, Hirata S, Kiyama H, Watanabe Y, Nishizawa Y: Effect of nutritional support on fatigueand autonomic dysfunction in patients with end-stage renal diseases: arandomized double-blind placebo-controlled study. Am Soc Nephrol, 2009/11/21－11/25 Colorado Convention Center, Denver, USA

335. 小林昌宏、竹末芳生、谷川原祐介、三鴨廣繁、木村利美、平田純生、白石 正、栄田敏之、高倉俊二: 抗 MRSA 薬の TDM（therapeutic drug monitoring）に関する全国調査. 第 56 回東日本支部総会、2009

336. 平田純生: 各種リン吸着薬の特徴とその選択法. CKD-MBD シンポジウム, 第 42 回九州人工透析研究会, 2009 11/29 アクロス福岡)

337. 平田純生：慢性腎臓病の薬物療法とサプリメント.第 12 回腎と栄養代謝研究会特別講演, 2009 12/19 ホテル京阪京都

## 2010年

№351

**新留将吾さん　優秀演題賞受賞**
**第４回日本腎と薬剤研究会学術大会**
**バンコマイシンの投与設計において日本人向**
**GFR 推算式は有用か？**

338. 平田純生: 慢性腎臓病（CKD）患者における抗菌薬の TDM. 日本 TDM 学会第 31 回セミナー 教育講演　　2010 年 1 月 23 日サンポートホール高松
339. 平田純生: CKD の薬物治療. 日本アプライドセラピューティクス学会第 1 回学術大会教育講演, 2010　　2010 年 4 月 24、25 日昭和大上条講堂
340. 平田純生: 透析患者における抗 MRSA 薬の適正使用. 第 58 回日本化学療法学会シンポジウム「抗 MRSA 薬の TDM の標準化に向けて」, 2010　2010 年 6 月 3, 4 日長崎ブリックホール
341. 平田純生: 腎臓病の薬物動態. 第 53 回日本腎臓学会教育講演, 2010　2010/06/16 神戸国際会議場
342. 門脇大介, 濟川聡美, 長嶋美里, 成田勇樹, 曽田彩夏, 平田純生: アセトアミノフェンが CRF ラットの腎機能に及ぼす影響と投与量の関係第 53 回日本腎臓学会, 2010　2010/06/17 神戸国際展示場
343. 平田純生: 下剤の選択およびその適正使用. 第 55 回日本透析医学会ワークショップ「透析患者の合併症に対する薬剤の使用」, 2010　2010/06/20 神戸ポートピアホテル
344. 八重徹司, 宮村重幸, 丸山 徹, 平田純生:透析患者における血漿中薬物濃度の推定～TDM 対象薬外の薬剤も推測してみよう～. 第 55 回日本透析医学会ワークショップ「透析患者の合併症に対する薬剤の使用」, 2010　2010/06/20 神戸ポートピアホテル
345. 長嶋美里, 曽田彩夏, 濟川聡美, 狩野美香, 門脇大介, 平田純生: 腎不全モデルラットを用いた塩酸セベラマーにより誘発される便秘に関する検討 . 第 55 回日本透析医学会, 2010　2010/06/ 20 神戸国際展示場
346. 平田純生: 腎疾患患者の抗 MRSA 薬の TDM. 第 27 回日本 TDM 学会シンポジウム, 2010 2010 年 6 月 26 日札幌サンプラザ、サンプラザホール
347. 新留将吾, 陣上祥子, 福永栄子, 宮村重幸, 入江英治, 狩野美香, 門脇大介, 平田純生: バンコマイシン投与設計における各種腎機能推算式の体表面積補正、体格補正の必要性についての検討, 第 27 回日本 TDM 学会・学術大会　　2010 年 6 月 26 日札幌サンプラザ、サンプラザホール
348. 礒部邦彌, 磯山直仁, 山田克弘, 山本光孝, 平田純生: 透析患者におけるポリスチレンスルホン酸ナトリウムと炭酸カルシウムの相互作用の 1 症例. 医療薬学フォーラム, 2010
349. 田上順隆, 萩原里実, 狩野美香, 副島一晃, 竹澤真吾, 門脇大介, 平田純生: ミニモジュールを用いたアルベカシンの AN69®膜による吸着除去特性の検討. 第 4 回日本腎と薬剤研究会学術大会, 2010 2010 年 10 月 31 日　パシフィコ横浜
350. 礒部邦彌, 山田克弘, 山本光孝, 平田純生: 透析患者におけるポリスチレンスルホン酸ナトリウム

と炭酸カルシウムの相互作用. 第 4 回日本腎と薬剤研究会学術大会, 2010　2010 年 10 月 31 日　パシフィコ横浜

351. 新留将吾, 草野充裕, 狩野美香, 陣上祥子, 福永栄子, 宮村重幸, 入江英治, 門脇大介, 平田純生: バンコマイシンの投与設計において日本人向けGFR推算式は有用か？第4回日本腎と薬剤研究会学術大会, 2010　2010 年 10 月 31 日　パシフィコ横浜 新留将吾さん優秀演題賞受賞

352. 平田純生: CKD 患者の薬物相互作用をいかにして回避するか. 第4回日本腎と薬剤研究会学術大会特別講演, 2010　2010 年 10 月 31 日　パシフィコ横浜

353. 古場清貴, 門脇大介, 竹澤真吾, 平田純生: 透析除去率を考慮した薬物投与設計. 第 4 回日本腎と薬剤研究会学術大会シンポジウム 1 , 2010　2010 年 10 月 30 日　パシフィコ横浜

354. 三宅健文, 和泉智, 竹内裕紀, 平田純生：日本腎と薬剤研究会　専門薬剤師制度対策委員会からの報告. 第 4 回日本腎と薬剤研究会学術大会シンポジウム 2 , 2010　2010 年 10 月 3 1 日　パシフィコ横浜

355. 三宅健文, 竹内裕紀, 和泉智, 平田純生：腎・透析領域における専門薬剤師制度設立に関する意識調査. 第 20 回日本医療薬学会 ポスター発表, 2010　　2010 年 11 月 13 日、14 日幕張メッセ

356. 成田勇樹, 門脇大介, 柴田啓智, 下石和樹, 飛野幸子, 福永栄子, 平田純生: シナカルセトによる CYP2D6 阻害作用が心血管疾患治療薬の代謝に及ぼす影響. 第 20 回日本医療薬学会, 2010　2010 年 11 月 13 日、14 日幕張メッセ

357. 平田純生、門脇大介: ボーダレスな大学を目指した「薬剤師サロン」の取り組み. 第 20 回日本医療薬学会, 2010　　2010 年 11 月 13 日、14 日幕張メッセ

358. 長嶋美里, 曽田彩夏, 門脇大介, 平田純生: 塩酸セベラマーにより誘発される便秘メカニズムの検討. 第 20 回日本医療薬学会, 2010　　2010 年 11 月 13 日、14 日幕張メッセ

## 2011 年

**村谷奈々子さん　優秀ポスター賞受賞**
**第 5 回日本腎と薬剤研究会学術大会**
**慢性腎臓病に対する**
**アセトアミノフェンの有用性評価**

359. 平田純生　リン吸着薬のより効率的な使い方. 第 74 回大阪透析研究会ランチョン 2011 年 3 月 13 日大阪国際会議場

360. 平田純生: CKD 患者への鎮痛薬適正使用～ここがポイント～. 第 54 回日本腎臓学会ランチョンセミナー　　2011 年 6 月 15 日パシフィコ横浜

361. 平田純生: 第 56 回日本透析医学会ワークショップ 8「透析患者の薬物適正～現状の問題点について考える～」2011 年 6 月 19 日パシフィコ横浜

362. 平田純生: 腎機能障害時の抗菌化学療法、投与量変更すべき適正使用. 日本化学療法学会教育講演, 2011 年 6 月 24 日札幌コンベンションセンター

363. 平田純生: 腎臓病薬物療法専門薬剤師の職能拡大のために今なすべきこと
～Order-taker から Self-starter への脱却～. 第 5 回日本腎と薬剤研究会学術大会会長講演、2011 年 9 月 17 日北九州国際会議場

369.平田純生: 透析患者さんの便秘、その原因と対策. 第 5 回日本腎と薬剤研究会学術大会ベーシックセミナー1、2011 年 9 月 18 日北九州国際会議場

平田純生: 心腎関連と薬物療法～薬剤師としてできること、やらねばならないこと～. 第 5 回日本腎と薬剤研究会学術大会シンポジウム、2011 年 9 月 18 日北九州国際会議場

370.成田勇樹、門脇大介、下石和樹、柴田啓智、秋吉明子、福永栄子、飛野幸子、平田純生: シナカルセトの CYP2D6 阻害作用による薬物動態への影響. 第 5 回日本腎と薬剤研究会学術大会、2011 年 9 月 18 日北九州国際会議場

371. 田代一成、成田勇樹、門脇大介、平田純生: リン吸着薬の吸着能に対する pH の影響評価. 第 5 回日本腎と薬剤研究会学術大会、2011 年 9 月 18 日北九州国際会議場

372. 坂田美紀, 長嶋美里, 曽田彩夏, 成田勇樹, 門脇大介, 平田純生: リン吸　着性ポリマーである塩酸セベラマーの吸水性が排便に及ぼす影響. 第 5 回日本腎と薬剤研究会学術大会、2011 年 9 月 18 日北九州国際会議場

373. 村谷奈々子、済川聡美、門脇大介、坂口翔一、曽田彩夏、成田勇樹、平田純生: 慢性腎臓病に対するアセトアミノフェンの有用性評価. 第 5 回日本腎と薬剤研究会学術大会、2011 年 9 月 18 日北九州国際会議場　村谷奈々子さん優秀ポスター賞受賞

374. 曽田彩夏、長嶋美里、成田勇樹、門脇大介、平田純生: 塩酸セベラマーにより誘発される便秘に適した下剤の探索. 第 21 回日本医療薬学会年会、2011 年 10 月 1 日神戸国際会議場

375. 平良知子、石松隆志、園田昭彦、平山英雄、成田勇樹、門脇大介、平田純生: 腎臓病用マルチビタミンサプリメントの有用性評価研究. 第 21 回日本医療薬学会年会、2011 年 10 月 1 日神戸国際会議場

376. 坂口翔一、門脇大介、宮本洋平、佐藤圭創、丸山徹、小田切優樹、成田勇樹、平田純生: 高尿酸血症治療薬ベンズブロマロンの抗酸化作用評価. 第 21 回日本医療薬学会年会、2011 年 10 月 2 日神戸国際会議場

377. 守田和彦、磯部邦彌、山田克弘、平田純生: S - 1 が服用中の薬剤に与える影響～フェニトイン中毒をきたした 1 例. 第 21 回日本医療薬学会年会、2011 年 10 月 1 日神戸国際会議場

378. 平田純生: 腎障害患者の合併症と栄養管理.パネルディスカッション「慢性期から維持期における透析患者の栄養を考える～新しい医食同源～」. 第 35 回全国腎疾患管理懇話会学術大会 2011 年 10 月 29 日倉敷市アイビースクエア

## 2012 年

**有水かなみさん　優秀課題章受賞**
**第 29 回日本薬学会九州支部大会**
**腎不全に伴うアセトアミノフェン代謝物の蓄積と腎機能との関係**

379. 吉田　豊, 副島一晃, 柴田啓智, 成田勇樹, 田代一成, 門脇大介, 平田純生: AN69 膜によるアルベカシン吸着除去の検討. 第 40 回血液浄化技術学会　大宮ソニックシティ 2012 年 4 月 21 日(土)・22 日（日）

380. 有水かなみ, 門脇大介, 北村健一郎, 成田勇樹, 富田公夫, 小田切優樹, 丸山徹, 平田純生: アセトアミノフェンが腎不全モデルラットの腎障害の進展に及ぼす影響. 第 55 回日本腎臓学会, 2012 2012/06/02 パシフィコ横浜

381. 門脇大介, 坂口翔一, 宮本洋平, 佐藤圭創, 丸山 徹, 小田切優樹, 成田勇樹, 平田純生: 高尿酸血症治療薬ベンズブロマロンの抗酸化作用と血管内皮保護作用. 第 55 回日本腎臓学会学術総会, 2012　2012/06/02 パシフィコ横浜

382. 萩原里美, 門脇大介, 成田勇樹, 竹澤真吾,平田純生: 腎不全ラットの作成と薬物除去率の評価. 第 55 回日本腎臓学会学術総会, 2012 (2012/06/01 パシフィコ横浜)

383. 成田勇樹, 門脇大介, 田上順隆, 田代一成,吉田　豊, 副島一晃, 平田純生: 膜吸着を利用した透析患者のアルベカシンの適正投与. 第 55 回日本腎臓学会学術総会, 2012 (2012/06/01 パシフィコ横浜)

384.宮地亜由美, 西 一彦, 門脇大介, 成田勇樹, 平田純生: 腎部分切除における尿中 L-FABP および酸化ストレスマーカーの変動. 第 55 回日本腎臓学会学術総会, 2012 (2012/06/03 パシフィコ横浜)

385.平田純生: バンコマイシンによる腎障害は過大評価されている？パネルディスカッション 1「抗 MRSA 薬 TDM のコントロバシー」. 2012 年 6 月 16-17 日第 29 回日本 TDM 学会・学術大会　神戸

386.平田純生: 初めて TDM 担当になった時の留意点. 初心者セミナー. 2012 年 6 月 16-17 日, 第 29 回日本 TDM 学会・学術大会　神戸

387.平田純生, 門脇大介: 透析患者に対する薬物投与の特殊性. 第 57 回日本透析医学会学術集会・総会教育講演 1, 2012 年 6 月 21-23 日京王プラザホテル札幌、ロイトン札幌、さっぽろ芸術文化の館、札幌プリンスホテル国際館パミール、札幌市教育文化会館

388.吉田　豊, 副島一晃, 柴田啓智, 成田勇樹, 田代一成, 門脇大介, 平田純生: 膜吸着によるアルベカシン除去の検討. 第 57 回日本透析医学会学術集会・総会　2012 年 6 月 21-23 日京王プラザホテル札幌、ロイトン札幌、さっぽろ芸術文化の館、札幌プリンスホテル国際館パミール、札幌市教育文化会館

389. 有水かなみ、門脇大介、北村健一郎、濟川聡美、宮本洋平、成田勇樹、冨田公夫、丸山徹、小田切優樹、平田純生: 腎不全時におけるアセトアミノフェンの安全性評価. 医療薬学フォーラム 2012/第 20 回クリニカルファーマシーシンポジウム　場所：福岡国際会議場、開催日：2012 年 07 月 14-15 日

390. 萩原里実、門脇大介、成田勇樹、竹澤真吾、平田純生: 薬物除去率評価系としての血液透析モデルラットの確立. 医療薬学フォーラム 2012/第 20 回クリニカルファーマシーシンポジウム　場所：福岡国際会議場、開催日：2012 年 07 月 14-15 日

391. 宮地亜由美、西一彦、門脇大介、成田勇樹、平田純生: 腎部分切除後の尿中 L-FABP および酸化ストレスマーカーの変動に関する調査. 医療薬学フォーラム 2012/第 20 回クリニカルファーマシーシンポジウム　場所：福岡国際会議場、開催日：2012 年 07 月 14-15 日

392.有水かなみ、門脇大介、北村健一郎、濟川聡美、宮本洋平、成田勇樹、冨田公夫、丸山徹、小田切優樹、平田純生: 5/6 腎臓摘出腎不全モデルラットに対するアセトアミノフェン長期的投与と腎保護

効果. 第 6 回日本腎臓病薬物療法学会 学術集会・総会 2012 場所：ロイトン札幌、開催日：2012 年 9 月 16 日

393. 萩原里実、門脇大介、成田勇樹、竹澤真吾、平田純生: 血液透析モデルラットの作成と薬物除去率の評価. 第 6 回日本腎臓病薬物療法学会 学術集会・総会 2012 場所：ロイトン札幌、開催日：2012 年 9 月 16 日

394. 宮地亜由美、西一彦、成田勇樹、新留将吾、門脇大介、平田純生: 腎手術後の尿中酸化ストレスおよび L-FABP の変動と腎機能に関する検討. 第 6 回日本腎臓病薬物療法学会 学術集会・総会 2012 場所：ロイトン札幌、開催日：2012 年 9 月 16 日

395. 平田純生: 薬剤性腎障害を未然に防ぐ. 第 6 回日本腎臓病薬物療法学会学術大会・総会　2012 年 9 月 15 日　ロイトン札幌

396.平田純生: 慢性腎臓病患者へのファーマシューティカル・ケア. 第 45 回薬剤師学術大会シンポジウム　2012 年 10 月 7、8 日アクトシティ浜松

397.平田純生, 門脇大介: CKD 患者と薬剤師の役割. 第 22 回日本医療薬学会シンポジウム, 2012 年 10 月 27 日ときメッセ

398.平田純生: 「腎臓病薬物療法専門薬剤師について」
第 8 回九州山口薬学会ファーマシューティカルケアシンポジウム 2013.2.16/17
「これからの専門薬剤師の多様性」　がん、感染以外のＣＫＤ、妊婦・授乳婦、精神、緩和について　　ＪＲ博多シティ

399.有水かなみ、門脇大介、北村健一郎、濟川聡美、宮本洋平、成田勇樹、冨田公夫、丸山徹、小田切優樹、平田純生: 腎不全に伴うアセトアミノフェン代謝物の蓄積と腎機能との関係. 第 29 回日本薬学会九州支部大会 2012 場所：熊本大学薬学部、開催日：2012 年 12 月 8 日　有水かなみさん優秀演題賞を受賞

400. 萩原里実、門脇大介、成田勇樹、竹澤真吾、平田純生: 薬物の透析除去評価を目指した *in vivo* モデルの開発. 第 29 回日本薬学会九州支部大会 2012 場所：熊本大学薬学部、開催日：2012 年 12 月 9 日

401. 宮地亜由美、西一彦、門脇大介、成田勇樹、平田純生: AKI マーカーである L-FABP の PN 患者における有用性の検討. 第 29 回日本薬学会九州支部大会 2012 場所：熊本大学薬学部、開催日：2012 年 12 月 9 日

## 2013 年

**村谷奈々子さん　優秀課題章受賞**
**第 7 回**
**日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会**
**高血圧モデルラットの酸化ストレスに対するベンズブロマロンの効果**

402.有水かなみ、門脇大介、北村健一郎、濟川聡美、宮本洋平、成田勇樹、冨田公夫、丸山徹、小田切優樹、平田純生: 腎不全に伴うアセトアミノフェン代謝物の蓄積と腎機能との関係.日本薬学会第133年会　場所：パシフィコ横浜、開催日：2013年3月27-30日

403.井上大奨, 平池美香子, 平木洋一, 真鍋健一, 辻泰 弘, 神村英利, 加留部善晴, 平田純生: アミノグリコシド系抗生物質（AMK, GM）のダイアライザーによる除去率. 第30回日本TDM学会・学術集会　場所：熊本市民会館崇城大学ホール, 開催日：2013年5月25-26日

404.平池美香子, 井上大奨, 平木洋一, 真鍋健一, 辻 泰弘, 神村英利, 加留部善晴, 平田純生: 透析患者におけるバンコマイシンの初回投与量の検討. 第３０回日本 TDM 学会・学術集会　場所：熊本市民会館崇城大学ホール, 開催日：2013年5月25-26日

405.島 祐子, 佐藤豪泰, 山口秀樹, 黒田昌宏, 平田純生: 抗血小板薬･抗凝固薬併用がバスキュラーアクセスに及ぼす影響. 日本透析医学会学術集会・総会 場所：マリンメッセ福岡, 開催日：2013年6月22日

406.村谷奈々子, 門脇大介, 北村健一郎, 成田勇樹, 丸山徹, 小田切優樹, 平田純生: 高血圧モデルラットの酸化ストレスに対するベンズブロマロンの効果.　第 23 回日本医療薬学会年会, 場所: 仙台国際センター, 開催日: 2013年9月21日

407.平田純生, 門脇大介, 成田勇樹: 腎機能低下時の薬物投与設計～添付文書のウラを読み取るスペシャリストの必要性～. シンポジウム「慢性腎臓病（CKD）のキーマンに薬剤師がなるために（CKD抑制は薬剤師の役割であり処方せん調剤に責任を持つことが薬剤師の使命である）」第46回日本薬剤師学術大会, 場所: グランキューブ大阪（大阪国際会議場）, 開催日: 2013年9月22-23日

408.平田純生, 門脇大介, 成田勇樹: 代謝・栄養改善をめざした薬物治療について～医療用医薬品・サプリメントの有効利用～. 腹膜透析学会　シンポジウム「腹膜透析と代謝・栄養」第19回日本腹膜透析医学会学術集会･総会, 場所: グランキューブ大阪（大阪国際会議場）, 開催日: 2013年9月28-29日

409.平田純生: 腎機能を正確に見積もるコツと理論～投与設計のすべてがここから始まる～. 第 7 回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会 理事長講演（広島国際会議場）, 開催日 2013 年 10 月 5-6 日

410.平田純生: 血液浄化法における溶質除去. 第7回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会 パネルディスカッション 血液浄化法による薬物除去について考える～この薬物は除去されるのか、どれだけ補充すればよいのか？～. 第7回日本腎臓病薬物療法学会学術集会･総会（広島国際会議場）, 開催日 2013年10月5-6日

411.村谷奈々子, 門脇大介, 北村健一郎, 成田勇樹, 丸山徹, 小田切優樹, 平田純生: 高血圧モデルラットの酸化ストレスに対するベンズブロマロンの効果. 第7回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会（広島国際会議場）, 開催日 2013年10月5-6日　村谷奈々子さん優秀演題賞受賞

412.田代一成, 成田勇樹, 門脇大介, 田上順隆, 吉田豊, 副島一晃, 平田純生: 膜吸着を利用したアルベカシンの適正投与. 第7回日本腎臓病薬物療法学会学術集会･総会（広島国際会議場）, 開催日 2013年10月5-6日

413.坂田美紀, 門脇大介, 成田勇樹, 丸山徹, 平田純生: トロンボモジュリン α の抗酸化能の探索. 第7回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会（広島国際会議場）, 開催日 2013年10月5-6日

414.島 祐子, 田辺知子, 佐藤豪泰, 奥田浩爾, 平田純生: 入院血液透析患者におけるチアプリド塩酸塩の副作用発現リスクの検討. 第7回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会（広島国際会議場）, 開

催日 2013 年 10 月 5-6 日

415.平田純生: 腎機能と薬物適正使用における薬剤師の役割. 第 52 回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会　中国四国支部学術大会（松山大学キャンパス）, 開催日 2013 年 10 月 26-27 日

## 2014 年

416.坂田美紀, 門脇大介,異島 優, 成田勇樹, 小田切優樹, 丸山 徹, 平田純生: トロンボモジュリン α のプレイオトロピック効果としての抗酸化作用. 日本薬学会第 134 年会（熊本市総合体育館）, 開催日 2014 年 3 月 28-30 日

417.村谷菜々子, 門脇大介, 成田勇樹, 北村健一郎, 丸山 徹, 小田切優樹, 平田純生: 高血圧モデルラットの酸化ストレスに対するベンズブロマロンの効果. 日本薬学会第 134 年会（熊本市総合体育館）, 開催日 2014 年 3 月 28-30 日

418.平田純生: 腎臓病薬物療法専門・認定薬剤師の意義. シンポジウム 05「透析チーム医療における専門資格の意義」., 第 59 回日本透析医学会学術集会・総会, （神戸国際会議場・ポートピアホテル）開催日 2014 年 6 月 13 日-15 日.

419.平田純生: 血液浄化法における薬物除去特性～Overview～ワークショップ B「血液浄化法による薬物除去について徹底討論する～この薬物は除去されるのか、どれだけ補充すればよいのか？～」., 第 59 回日本透析医学会学術集会・総会, （神戸国際会議場・ポートピアホテル）開催日 2014 年 6 月 13 日-15 日.

420.平田純生: 透析患者の便秘とその治療薬. ベーシックセミナー6 「若手医師とコメディカルのための透析患者の薬物適正使用. 第 59 回日本透析医学会学術集会・総会（神戸国際会議場・ポートピアホテル）, 開催日 2014 年 6 月 13 日-15 日.

421. 平田純生: CKD ステージ G１、2 期：早期腎機能低下患者に対する薬学的管理. シンポジウム「ＣＫＤステージに応じた CKD 患者の薬学的管理の実践－腎臓病薬物療法専門・認定薬剤師がめざすもの－」. 日本医療薬学会第 24 回年会（名古屋国際会議場）. 開催日 2014 年 9 月 27 日-28 日

422.平田純生:薬剤性腎障害による腎機能低下の防止をめざして. シンポジウム「薬剤師の力で腎機能低下の防止に貢献しよう」. 日本医療薬学会第 24 回年会（名古屋国際会議場）. 開催日 2014 年 9 月 27 日-28 日

423. 平田純生: 血液浄化法による薬物除去. 第 9 回九州臨床工学会及び第 22 回福岡県臨床工学会（北九州国際会議場）開催日 2014 年 10 月 5 日

424. 平田純生: CKD 患者の処方の見方、考え方～本物の薬剤師だからできる投与設計・中毒性副作用の防止～. 第 8 回日本腎臓病薬物療法学会学術集会理事長講演. （大阪国際交流センター）, 2014 年 10 月 12 日-13 日

425. 水野智博, 佐藤和一, 石川和宏, 森下真由, 寺尾勇紀, 宮川泰宏, 阪井祐介, 高橋和男, 湯澤由紀夫, 山田清文, 平田純生, 今井圓裕, 永松　正, 野田幸裕: 糖尿病患者でのシスプラチン急性腎不全発症における尿細管トランスポーターSLC47A1 の関与. 第 8 回日本腎臓病薬物療法学会学術集会理事長講演. （大阪国際交流センター）, 2014 年 10 月 12 日-13 日

426. 平田純生: よくわかる薬剤性腎障害. 第 8 回日本腎臓病薬物療法学会学術集会. ワークショップ 2. （大阪国際交流センター）, 2014 年 10 月 12 日-13 日

427. 成田勇樹，植田美紀，内村幸平，水本輝彦，宮里賢和，森永潤，早田学，柿添豊，安達政隆，實吉拓，門脇大介，平田純生，北村健一郎: 新規治療戦略を目指した CKD 治療薬としてのカモスタットの有用性評価. 第 8 回日本腎臓病薬物療法学会学術集会理事長講演. （大阪国際交流センター）, 2014 年 10 月 12 日-13 日

428. 水野智博，佐藤和一，石川和宏，森下真由，寺尾勇紀，宮川泰宏，阪井祐介，高橋和男，湯澤由紀夫，山田清文，平田純生，今井圓裕，永松正，野田幸裕: 糖尿病患者でのシスプラチン急性腎不全発症における尿細管トランスポーターSLC47A1 の関与. 第 8 回日本腎臓病薬物療法学会学術集会. （大阪国際交流センター）, 2014 年 10 月 12 日-13 日

429. 小園晃生，成田勇樹，竹澤真吾，門脇大介，平田純生: 超小型ダイアライザーを用いた透析除去率の in vitro 評価. 第 8 回日本腎臓病薬物療法学会学術集会. （大阪国際交流センター）, 2014 年 10 月 12 日-13 日

430. 柴田啓智，大野能之，門脇大介，佐々扶美，平田純生，山室蕗子，長谷川浩三，宇藤文子，糸島恵，長峰慎之介，成田勇樹，近藤悠希，平良知子，村山朋子，大島壽和子，宮村重幸，下石和樹: 日本腎臓病薬物療法学認定薬剤師によるデブリーフィングを用いたシュミレー　ション教育. 第 8 回日本腎臓病薬物療法学会学術集会. （大阪国際交流センター）, 2014 年 10 月 12 日-13 日

431. 江藤りか，天本耕一郎，上島泰二，山口健太郎，土井健志，下坂 健，本間三絵，河村綾子，井上和秀，宮崎彰宣，中嶋幹郎，七種均，益田宣弘，蒲池芳明，田代浩幸，宮崎長一郎，平田純生: 医師と薬剤師の連携における腎機能を用いた薬物療法適正化事業. 第 8 回日本腎臓病薬物療法学会学術集会. （大阪国際交流センター）, 2014 年 10 月 12 日-13 日

432. 平田純生: 症例検討会のコメンテーター. リウマチと感染症研究会, （東京ホテルオークラ　本館 1 回千歳の間）, 2014 年 10 月 18 日

423. 平田純生: 薬剤性腎障害～Overview～. シンポジウム「薬剤性腎障害」. 第 44 回日本腎臓学会東部学術大会 2014, （ベルサール新宿グランド）. 2014 年 10 月 24-25 日

434. 平田純生: 透析導入患者の糖尿病治療薬の使い方. 日本くすりと糖尿病学会学術集会・日本腎臓病薬物療法学会合同シンポジウム「糖尿病腎症の進展防止をめざして」－糖尿病腎症における血糖管理－. 第 3 回日本くすりと糖尿病学会学術集会. （アクロス福岡）, 2014 年 11 月 2 日-3 日

435. 平田純生: 慢性腎臓病（CKD）の処方の見方、考え方. 第 38 回福山大学卒後教育研修会 （福山大学 1 号館大講義室）2014 年 11 月 12 日

436. 平田純生: 腎機能低下患者の薬物投与設計　または腎機能低下患者で要注意の薬物. シンポジウム 4　腎臓病と薬物適正使用を考える. 九州山口薬学大会（長崎ブリックホール）, 2014 年 11 月 23-24 日

## 2015 年

**中村　希さん　優秀課題章受賞**

**第 9 回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会**

**腎細胞がんにおけるチロシンキナーゼ阻害薬による高血圧に対する降圧薬の適正使用に向けての基礎的検討.**

437. 平田純生: 腎機能低下時のTDM～中毒性副作用ゼロを目指すためにやるべきこと～. 第32回日本TDM学会教育講演1（キッセイ文化ホール）　2015年5月23日-24日

438.成田勇樹, 上田美紀, 内村幸平, 柿添 豊, 門脇大介, 平田純生, 向山政志, 北村健一郎:新規治療戦略を目指したカモスタットおよびARB併用による有用性評価. 第58回日本腎臓学会総会（名古屋国際会議場）, 2015年6月5日-7日

439.福元浩一, 門脇大介, 成田勇樹, 平田純生: 血液透析患者に用いられる各種ポリマーによる便秘誘発に関する比較. 第58回日本腎臓学会総会（名古屋国際会議場）, 2015年6月5日-7日

441.近藤悠希, 川畑信浩, 石塚洋一, 高橋理佐, 岩元暢秀, 成田勇樹, 門脇大介, 平田純生, 内野 悟, 入江徹美:慢性腎臓病患者の一般用医薬品適正使用を目指した登録販売者研修会の教育効果. 第18回日本医薬品情報学会総会・学術大会（岡山大学創立五十周年記念館）　2015年6月27,28日

440.平田純生: 腎機能に配慮した鎮痛薬選択. 第37回日本疼痛学会ランチョンセミナー（市民会館崇城大学ホール　大ホール）2015年7月3日、4日

442. 平田純生: 腎機能低下時の医薬品安全性　～通常医薬品がハイリスク薬に変わるとき～., 第 1 回日本医薬品安全性学会教育講演 1 （福山市宮地記念館）2015 年 7 月 4 - 5 日

443. 森 直樹, 平田純生: 医薬品有害反応を未然に防ぐためにどうするか？～スモールグループディスカッションによる症例検討会～.　第 1 回日本医薬品安全性学会ワークショップ 2（福山市宮地記念館）2015 年 7 月 4-5 日

444. 平田純生：軽視できない薬剤性便秘　～致死性の腸管穿孔を防ぐために～. ランチョンセミナー6 第 1 回日本医薬品安全性学会（福山市宮地記念館）2015 年 7 月 4-5 日

445. 門脇大介, 有水かなみ, 北村健一郎, 成田勇樹, 丸山 徹, 小田切優樹, 平田純生: 腎障害持のアセトアミノフェンは安全か？　第 1 回日本医薬品安全性学会（福山市宮地記念館）2015 年 7 月 4 - 5 日

446. 宇藤文子, 柴田啓智, 長谷川浩三, 大島壽和子, 平良知子, 糸島 恵, 村山朋子,　門脇大介, 佐々扶美, 長峰慎之介, 近藤悠希, 成田勇樹, 宮村重幸, 山室蕗子,　下石和樹, 平田純生, 古久保拓: 熊本腎と薬剤研究会による参加型研修会への取り組みとその効果. 第 9 回日本腎臓病薬物療法学会学術集会. （仙台国際センター）, 2015 年 10 月 24 日-25 日

447. 平田純生: 透析患者の薬物適正使用. 第 9 回日本腎臓病薬物療法学会学術集会教育講演. （仙台国際センター）, 2015 年 10 月 24 日-25 日

448. 平田純生: 僕がダメ薬剤師から脱皮できた理由～イマジンからのメッセージ～. 第 9 回日本腎臓病薬物療法学会学術集会理事長講演. （仙台国際センター）, 2015 年 10 月 24 日-25 日

449.平田純生: よくわかる薬物投与設計時の腎機能の評価. 第 9 回日本腎臓病薬物療法学会学術集会シンポジウム. （仙台国際センター）, 2015 年 10 月 24 日-25 日

450.　福永雅樹, 門脇大介, 成田勇樹, 田中遼大, 渡邊博志, 山崎啓之, 田口和明,伊東弘樹, 丸山　徹, 小田切優樹, 平田純生: 薬物透析性において基礎研究から臨床へ応用するために考慮すべき因子の模索. 第 9 回日本腎臓病薬物療法学会学術集会（仙台国際センター）, 2015 年 10 月 24 日-25

日

451. 中村　希，門脇大介，高森紀衣，成田勇樹,小田切優樹，丸山　徹,平田純生: 腎細胞がんにおけるチロシンキナーゼ阻害薬による高血圧に対する降圧薬の適正使用に向けての基礎的検討. 第 9 回日本腎臓病薬物療法学会学術集会（仙台国際センター）, 2015 年 10 月 24 日-25 日中村　希さん優秀演題賞受賞

452. 西井上美慧、近藤悠希、石塚洋一、高橋理佐、福崎照美、加治屋忠一、門脇大介、成田勇樹、平田純生、入江徹美: 慢性腎臓病患者におけるセルフメディケーションの実態調査. 第 48 回日本薬剤師会学術大会（鹿児島市民文化ホール）, 2015 年 11 月 22～23 日

453. 平田純生: 透析患者の糖尿病治療薬の使い方.　第 25 回日本医療薬学会シンポジウム（パシフィコ横浜）, 2015 年 11 月 21、22、23 日

454. 福永雅樹，門脇大介，成田勇樹，田中遼大，渡邊博志，山崎啓之，田口和明,伊東弘樹，丸山　徹，小田切優樹，平田純生: 血液透析モデルラットを用いた薬物のタンパク結合率が透析性に及ぼす影響の検討. 第 25 回日本医療薬学会（パシフィコ横浜）, 2015 年 11 月 21、22、23 日

455. 中村　希，門脇大介，高森紀衣，成田勇樹,小田切優樹，丸山　徹,平田純生: 腎細胞癌治療における降圧薬の併用による抗腫瘍効果の比較. 第 25 回日本医療薬学会（パシフィコ横浜）, 2015 年 11 月 21、22、23 日

## 2016 年

455. 平田純生: 薬剤性腎障害を防ぐ. 第 9 回九州山口薬学会ファーマシューティカルケアシンポジウム「中小病院における CKD 外来への積極的な取り組み」, 2016 年 2 月 27、28 日

456. 平田純生: TDM 対象薬による薬剤性腎障害を防ぐ. 第 33 回日本 TDM 学会・学術大会シンポジウム 4 薬物投与設計における腎機能評価と TDM の有用性. （栃木県総合文化センター） 2016 年 5 月 28-29 日

457. 　平田純生: 腎機能低下者と透析患者の用量設定. 第 33 回日本 TDM 学会･学術大会 Round-table discussion. （栃木県総合文化センター） 2016 年 5 月 28-29 日

458. 平田純生: 抗菌薬投与における腎機能評価. 第 64 回日本化学療法学会総会 シンポジウム 1「抗菌薬 TDM ガイドラインの再考」. （神戸国際会議場、神戸ポートピアホテル） 2016 年 6 月 9-11 日

459. 平田純生: 活性代謝物の蓄積による中毒性副作用を防ぐ 第 61 回日本透析医学会学術集会･総会シンポジウム「透析患者の中毒性副作用・相互作用を防ぐ」. （大阪国際会議場・リーガロイヤルホテル）2016 年 6 月 10-12 日

460. 平田純生: 腎障害時の薬物投与注意点. 第 59 回日本腎臓学会学術総会　教育講演 5「腎と薬物適正使用」.（パシフィコ横浜）2016 年 6 月 17-19 日

461. 平田純生，門脇大介，成田勇樹: 腎機能を見誤ったために想定される事故・事例. 第 2 回日本医薬品安全性学会シンポジウム 4「腎機能低下患者の医薬品安全性を確保するために薬剤師がなすべきこと」.（長良川国際会議場、岐阜都ホテル）2016 年 7 月 23-24 日

462. 464. 平田純生，柴田啓智，森 直樹，近藤悠希，吉田拓弥，門脇大介: 医薬品有害反応を未然に防ぐために薬剤師としてどう考えどう対処するか？～スモールグループディスカッションによる症例

検討会～. 第 2 回日本医薬品安全性学会（長良川国際会議場、岐阜都ホテル）2016 年 7 月 23-24 日

463. 福元浩一, 門脇大介, 成田勇樹, 平田純生: 便秘モデルラットを用いた各カリウム吸着薬による便秘増悪に関する比較検討. 第 2 回日本医薬品安全性学会（長良川国際会議場、岐阜都ホテル）2016 年 7 月 23-24 日

464. 平田純生: 高齢者・腎臓病患者に対する薬物療法～高マグネシウム血症の事例・注意喚起など～. 第 26 回日本医療薬学会年会ランチョンセミナー（国立京都国際会館、グランドプリンスホテル京都）2016 年 9 月 17-19 日

465. 平田純生, 門脇大介, 成田勇樹: 中毒性副作用の発症機序, 発症要因および回避対策の解析. 第 26 回日本医療薬学会年会シンポジウム 9 医薬品安全性額のススメ～医薬品～有害反応の臨床解析を起点として. （国立京都国際会館、グランドプリンスホテル京都）2016 年 9 月 17-19 日

466. 平田純生, 門脇大介, 成田勇樹: 腎機能を正確に判断するための 10 の鉄則. 第 26 回日本医療薬学会年会シンポジウム 13 腎機能を正しく評価するコツと理論. （国立京都国際会館、グランドプリンスホテル京都）2016 年 9 月 17-19 日

467. 平田純生, 門脇大介, 成田勇樹: NSAIDs による薬剤性腎障害. 第 26 回日本医療薬学会年会シンポジウム 43 薬剤性腎障害を考える. （国立京都国際会館、グランドプリンスホテル京都）2016 年 9 月 17-19 日

468. 成田勇樹, 植田美紀, 内村幸平, 柿添 豊, 水本輝彦, 宮里賢和, 森永 潤,早田 学, 中川輝政, 實吉 拓, 安達政隆, 門脇大介, 平田純生, 向山政志, 北村健一郎: カモスタットおよびARBの併用による CKD 新規治療戦略の確立. 第 26 回日本医療薬学会年会, （国立京都国際会館、グランドプリンスホテル京都）2016 年 9 月 17-19 日

472. 川上倫子, 日高大輔, 高松秀和, 水田雅也, 磯部邦彌, 平田純生: 高齢者における腎機能の評価方法の精度およびそれらの差異と「痩せ（フレイル）」との関係の解析. 第 26 回日本医療薬学会年会, （国立京都国際会館、グランドプリンスホテル京都）2016 年 9 月 17-19 日

473. 平田純生, 木村 健, 竹内裕紀: 日本腎臓病薬物療法学会の取り組みについて. 第 49 回日本薬剤師学術大会シンポジウム「生涯学習と薬剤師」（名古屋国際会議場・名古屋学院大学）2016 年 10 月 9-10 日

474. 平田純生: 鎮痛薬と腎障害. 第 36 回日本臨床麻酔学会シンポジウム「麻酔関連薬物の臓器障害」（高知市文化プラザかるぽーと）2016 年 11 月 3 日

475. 平田純生, 門脇大介, 成田勇樹: NSAID s ・アセトアミノフェン. 第 10 回日本腎臓病薬物療法学会・総会 2016 シンポジウム 5 「薬剤性腎障害を深く学ぶ」2016 年 11 月 19-20 日

476. 平田純生: CKD 患者の生体内での薬の行方～薬物動態って難しくない～. 第 10 回日本腎臓病薬物療法学会・総会 2016 理事長講演（パシフィコ横浜アネックスホール）2016 年 11 月 19-20 日第 10 回日本腎臓病薬物療法学会・総会, 2016

477. 川上倫子, 日高大輔, 高松秀和, 永田雅也, 磯部邦彌, 平田純生: 高齢者における腎機能推算式に関する臨床研究. 2016 年 11 月 19-20 日第 10 回日本腎臓病薬物療法学会・総会, 2016

478. 平田純生, 門脇大介, 成田勇樹: 抗菌薬投与時の腎機能の正しい評価法. 第 86 回日本感染症学会西日本地方学術集会、第 59 回日本感染症学会中日本地方学術集会、第 64 回日本化学療法学会西日本支部総会 シンポジウム 2「抗菌薬 TDM ガイドライン 2016」.（沖縄コンベンションセンター）2016 年 11 月 24-26 日

479. 平田純生, 門脇大介, 成田勇樹: 腎臓と薬. 第 37 回日本臨床薬理学会教育講演.(米子コンベンションセンター・米子市文化ホール）2016 年 12 月 1-3 日

## 2017 年

480. 目井瑞会, 門脇大介, 福永雅樹, 丸山 徹, 成田勇樹, 平田純生: 高リン血症腎不全モデルラットにおいてクエン酸第二鉄水和物中の鉄が酸化ストレスへ及ぼす影響の評価. 第 60 回日本腎臓学会学術総会（仙台国際センター）2017 年 5 月 26-28 日
481. 髙森紀衣, 門脇大介, 異島 優, 木下 遼, 成田勇樹, 丸山 徹, 小田切優樹, 平田純生: 腎細胞癌に対するスニチニブとオルメサルタン併用時の抗腫瘍効果の検討.第 60 回日本腎臓学会学術総会(仙台国際センター）2017 年 5 月 26-28 日
482. 平田純生: 腎機能低下患者の医薬品の安全性を担保せよ～なぜ重篤な有害反応が防げなかったのか～. 第 3 回日本医薬品安全性学会大会長講演（ホテルメルパルク熊本）2017 年 7 月 22 日-23 日
483. 平田純生: 透析患者の薬物療法の安全性について考える. 第 3 回日本医薬品安全性学会ランチョンセミナー（ホテルメルパルク熊本）2017 年 7 月 22 日-23 日
484. 平田純生:アセトアミノフェンと腎障害の臨床. 第 3 回日本医薬品安全性学会シンポジウム.（ホテルメルパルク熊本）2017 年 7 月 22 日-23 日
485. 浦田元樹, 成田勇樹, 平田純生: 血液透析による薬物除去率に影響する因子の検討. 第 3 回日本医薬品安全性学会（ホテルメルパルク熊本）2017 年 7 月 22 日-23 日
485. 島　祐子, 黒田昌宏, 黒田美子, 奥田洽爾, 平田純生: 地域の病院で治療しえた Stevens-Johonson 症候群の 1 例. 第 3 回日本医薬品安全性学会（ホテルメルパルク熊本）2017 年 7 月 22 日-23 日
486. 川上倫子, 髙松秀和, 水田雅也, 礒部邦彌, 平田純生: 高齢者フレイルにおける腎機能評価方法についての検討. 第 3 回日本医薬品安全性学会（ホテルメルパルク熊本）2017 年 7 月 22 日-23 日
487. 目井瑞会, 門脇大介, 福永雅樹, 丸山 徹, 成田勇樹, 瀬尾　量, 平田純生: 高リン血症腎不全ラットにおけるクエン酸第二鉄水和物中の鉄の安全性についての検討. 第 3 回日本医薬品安全性学会（ホテルメルパルク熊本）2017 年 7 月 22 日-23 日
488. 髙森紀衣, 門脇大介, 異島 優, 木下 遼, 成田勇樹, 丸山 徹, 小田切優樹, 瀬尾 量, 平田純生: 腎細胞癌治療薬であるスニチニブの副作用に対する降圧薬の有効性の検討. 第 3 回日本医薬品安全性学会（ホテルメルパルク熊本）2017 年 7 月 22 日-23 日
489. 平田純生, 成田勇樹: 腎機能低下時に最も注意が必要な薬剤について. 第 50 回日本薬剤師会学術大会分科会 40「慢性腎臓病(CKD)患者の処方監査と服薬指導 －現場での具体的取組と今後目指していく CKD 患者への対策（応用編）－」第 50 回日本薬剤師会学術大会（東京国際フォーラム JP タワー＆カンファレンス）2017 年 10 月 8 日 9 日
490. 平田純生: この副作用防げますか？～腎機能評価と薬の特徴から読み解く投与戦略～. 第 11 回日本腎臓病薬物療法学会（福岡国際会議場）2017 年 9 月 30 日
491. 糸島 恵, 市川康子, 内田朋子, 河原文子, 近藤悠希, 坂田美紀, 坂田美咲, 佐々芙美, 長峰慎之介, 成田勇樹, 長谷川浩三, 宮村重幸, 森 美香, 山室蕗子, 門脇大介, 下石和樹, 柴田啓智, 平田純生, 山本武人: 熊本腎と薬剤研究会によるアクティブラーニングを重視した研究会の取り組み. 第 11

回日本腎臓病薬物療法学会（福岡国際会議場）2017 年 9 月 30 日

492. 浦田元樹，成田勇樹，平田純生：血液透析による薬物除去率の予測．第 11 回日本腎臓病薬物療法学会（福岡国際会議場）2017 年 9 月 30 日

493. 平田純生：薬剤による腎障害の発症機序，発症要因とその対応．第 27 回日本医療薬学会シンポジウム．医薬品安全性学のススメ～副作用防止に向けて薬剤師の積極的関与～（幕張メッセ）2017 年 11 月 3 日-5 日

494. 兵頭沙耶，門脇大介，成田勇樹，平田純生：アセトアミノフェンおよびその代謝物の抗酸化作用の解析と解析と慢性腎不全治療への応用．第 27 回日本医療薬学会（幕張メッセ）2017 年 11 月 3 日-5 日

495. 平田純生：中毒性副作用の臨床解析とその有用性．日本薬局学会(NPFA)シンポジウム「薬剤師はくすりの“おまわりさん”です！－日本医薬品安全性学会（JASDS）からの提言－」．日本薬局学会（大宮ソニックシティ）2017 年 11 月 25 日, 26 日

496. 平田純生：抗微生物薬臨床試験のための腎機能の考え方．シンポジウム S35「抗微生物薬臨床試験のための臨床薬理学」．第 38 回 日本臨床薬理学会学術総会（パシフィコ横浜）2017 年 12 月 9 日

497. 平田純生:腎機能に配慮した鎮痛薬選択～アセトアミノフェンに肝障害・腎障害はあるか～．あゆみ製薬ランチョンセミナー．第 38 回 日本臨床薬理学会学術総会（パシフィコ横浜）2017 年 12 月 9 日

## 2018 年

**浜村加奈さん　優秀課題章受賞**
**第 12 回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会**
**第 Xa 因子阻害剤エドキサバンの抗酸化作用の解析と腎疾患治療への応用.**

498. 平田純生：薬剤性腎障害．第 10 回九州山口ファーマシューテカルケアシンポジウム　シンポジウム 5「腎臓病薬物療法」（下関海峡メッセ）2018 年 2 月 4 日

499. 森 優，福永雅樹，成田勇樹，小谷俊介，門脇大介，平田純生：AN69ST 膜による薬物吸着除去に対する薬物疎水性の影響．第 1 回熊本腎フロンティアコンソーシアム（熊本大学薬学部）2018 年 4 月 10 日

500. 末吉美憂，門脇大介，福永雅樹，目井瑞絵，成田勇樹，平田純生：:心腎連関をターゲットとしたラクツロースの腎保護作用．第 1 回熊本腎フロンティアコンソーシアム（熊本大学薬学部）2018 年 4 月 10 日

501. 平田純生：腎機能・肝機能を考慮した高齢者の鎮痛薬の選択．第 2 回日本第 2 回日本老年薬学会学術大会 スイーツセミナー（都市センターホール）2018 年 5 月 13 日

502. 平田純生：血液浄化法における薬物除去特性～OverView～．第 35 回日本 TDM 学会シンポジウム「血液浄化法と薬物の除去について徹底討論する」（九州大学医学部百年講堂）2018 年 5 月 28 日

503. 福永雅樹，兵頭沙耶，門脇大介，小谷俊介，成田勇樹，平田純生：アセトアミノフェンおよびその

代謝物の抗酸化作用の解析と解析と慢性腎不全治療への応用. 第 61 回日本腎臓学会（朱鷺メッセ）2018 年 6 月 8 日～10 日

504. 末吉美優，門脇大介，福永雅樹，目井瑞絵，成田勇樹，平田純生: ストレプトゾトシン誘発早期腎臓病モデルラットにおけるラクツロースの腎機能と腸内環境に及ぼす影響. 第 61 回日本腎臓学会（朱鷺メッセ）2018 年 6 月 8 日～10 日

505.芳澤朋大，芳澤朋大，上條吉人，花澤朋樹，鈴木善樹，鈴木善樹，藤田友嗣，臼井聖尊，平田純生，中谷宜章，芳賀佳之，岸野亨: 急性カフェイン中毒患者における血液透析法と血液灌流法の比較. 第 40 回日本中毒学会（大阪国際会議場）2018 年 7 月 20～21 日

506. 森 優，福永雅樹，成田勇樹，小谷俊介，門脇大介，平田純生: AN69ST 膜の薬物吸着能に対する薬物疎水性の影響. 第 63 回日本透析医学会学術集会・総会（神戸国際会議場）2018 年 6 月 29 日～7 月 1 日

507. 平田純生: Over view: DKI はなぜ起こりやすい？ 第 4 回日本医薬品安全性学会シンポジウム 1. 防げ！薬剤性腎障害（DKI: drug induced kidney injury）～薬剤師の実践行動計画～. 第 4 回日本医薬品安全性学会（倉敷芸文館）2018 年 8 月 18 日～19 日

508. 末吉美優，門脇大介，福永雅樹，目井瑞絵，伊藤慎悟，大槻純男，丸山徹，成田勇樹，平田純生: ストレプトゾトシン誘発早期腎臓病モデルラットにおけるラクツロースの腎機能と腸内環境に及ぼす影響. 第 4 回日本医薬品安全性学会（倉敷芸文館）2018 年 8 月 18 日～19 日

509. 平田純生: 腎機能低下時に気をつける薬. 第 51 回日本薬剤師学術大会シンポジウム「保険薬局でできる高齢者の腎臓病対策」（ANA クラウンプラザホテル金沢）2018 年 9 月 23 日～24 日

510. 平田純生: 保存期, CKD, PD, HD, CHDF で薬物療法に差があるのか. 第 7 回日本腹膜透析医学会教育講演 6 ( JR ホテルクレメント徳島 ) 2018 年 10 月 6 日～7 日

511. 平田純生: 症例に基づいた腎機能評価のコツと理論. 第 12 回日本腎臓病薬物療法学会理事長講演（浜松アクトシティ）2018 年 10 月 20 日～21 日

512. 明渡雄司，門脇大介，成田勇樹，福永雅樹，平田純生: スニチニブ併用時の腎細胞癌に対する ARB の抗腫瘍効果の検討. 第 12 回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会（浜松アクトシティ） 2018 年 10 月 20・21 日

513. 浜村佳奈，成田勇樹，樫山真美，門脇大介,平田純生: 第 Xa 因子阻害剤エドキサバンの抗酸化作用の解析と腎疾患治療への応用. 第 12 回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会（浜松アクトシティ） 2018 年 10 月 20・21 日**優秀演題賞受賞**

514. 藪下健太郎，添石遼平，松本有右，茂木 徹，竹内裕紀，古久保 拓，平田純生: 全薬価収載医薬品に対応した腎機能低下時に必要な注意情報を付加したデータベースの作成. 第 12 回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会（浜松アクトシティ） 2018 年 10 月 20・21 日

515. 森 優，福永雅樹，成田勇樹，小谷俊介，門脇大介，平田純生: 薬物疎水性が血液透析膜 AN69ST への薬物吸着性に及ぼす影響の評価. 第 12 回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会（浜松アクトシティ） 2018 年 10 月 20・21 日

516. 平田純生: OverView，腎を知ることの必然性.～知識は領域を超えて～. 第 28 回日本医療薬学会シンポジウム 58. 専門薬剤師が腎について考える～ジェネラリスト＋スペシャリストの腎臓病薬物療法～.（神戸コンベンションセンター）2018 年 11 月 23 日～25 日

517. Kadowaki D, Narita Y, Miyamura S, Uchimura K, Kitamura K, Maruyama T, Hirata S, Seo H: Evaluation of the antioxidant effects of benzbromarone in angiotensin II induced hypertension

model. Am Soc Nephrol 2018 (San Diego) Oct23~28

518. 平田純生: 透析患者の便秘～消化管穿孔を防ぐための薬物適正使用～. Advans 研究会 2018 2018 年 12 月 16 日ホテルグランドパレス（東京・九段）

## 2019 年

**成田勇樹さん　優秀課題章受賞**
**第 5 回日本医薬品安全性学会**
**第 Xa 因子阻害剤エドキサバンの腎疾患治療への応用を目指した抗酸化作用の解析.**

**福永雅樹さん　優秀課題章受賞**
**第 13 回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会**
**ノイロトロピンの抗酸化作用及び腎保護効果への寄与.**

519. Sueyoshi M, Fukunaga M, Nakajima A, Tanaka G, Murase T, Narita Y, Hirata S, Watanabe H, Maruyama T, Kadowaki D: Renal protectiveeffect of lactulose targeting of gut-kidney axis. Int Soc Nephrol 2018 (Melbourne, Australia) April 12-15
520. 平田純生: 「腎機能低下時の TDM～腎機能低下から血液浄化まで～」第 36 回日本 TDM 学会教育講演（コングレスクエア日本橋）2019 年 5 月 25・26 日
521. 平田純生：腎機能低下患者への薬剤投与時のピットフォール. 第 62 回日本腎臓学会シンポジウム 9「薬物療法の実際と進歩」（名古屋国際会議場）2019 年 6 月 21～23 日
522. 成田勇樹, 樫山真美, 浜村佳奈, 柿添 豊, 向山政志, 門脇大介, 平田純生, 北村健一郎: 腎疾患治療への応用を目指したカモスタットの抗酸化作用解析. 第 62 回日本腎臓学会（名古屋国際会議場）2019 年 6 月 21～23 日
523. 内田朱美, 福永雅樹, 原岡なつみ, 成田勇樹, 丸山 徹, 平田純生, 瀬尾 量, 門脇大介: ノイロトロピンの抗酸化作用の解析. 第 62 回日本腎臓学会（名古屋国際会議場）2019 年 6 月 21～23 日
524. 馬場汐里, 松山留巳, 福永雅樹, 成田勇樹, 丸山 徹, 平田純生, 瀬尾 量, 門脇大介: トロンボモジュリンαの抗酸化作用の解析と尿毒症物質に対する保護効果の検討. 第 62 回日本腎臓学会（名古屋国際会議場）2019 年 6 月 21～23 日
525. 福永雅樹, 門脇大介, 末吉美優, 内田朱美, 成田勇樹, 丸山 徹, 瀬尾 量, 平田純生: 5/6 腎摘ラットを用いたノイロトロピンの腎保護効果の検討. 第 62 回日本腎臓学会（名古屋国際会議場）2019 年 6 月 21～23 日
526. 末吉美優, 門脇大介, 福永雅樹, 中島淳志, 田中雅久, 村瀬貴代, 成田勇樹, 平田純生, 丸山 徹: ラクツロースの腸内環境及び腎不全に対する効果. 第 62 回日本腎臓学会（名古屋国際会議場）2019 年 6 月 21～23 日

527. 村上鞠奈，成田勇樹，浦田元樹，近藤悠希，石塚洋一，入江徹美、門脇大介、平田純生：血液透析による薬物除去率の予測式の構築．第 64 回日本透析医学会集会・総会（パシフィコ横浜）2019 年 6 月 28～30 日

528. 平田純生：腎機能低下患者へのハイリスク薬の適正使用．第 5 回日本医薬品安全性学会教育講演（東京理科大学葛飾校舎）2019 年 7 月 27・28 日

529. 中谷咲良，前田圭介，赤木純児，一木美里，村上鞠奈，福永雅樹，成田勇樹，近藤悠希，石塚洋一，入江徹美，門脇大介，平田純生：サルコペニア高齢者に適する腎機能評価方法の探索．第 5 回日本医薬品安全性学会（東京理科大学葛飾校舎）2019 年 7 月 27・28 日

530. 一木美里，中谷咲良，村上鞠奈，緒方美樹，前原優一，池田拡行，嶋田英敬，成田勇樹，猿渡淳二，門脇大介，平田純生：筋肉質な人における最適な腎機能推算式の検討．第5回日本医薬品安全性学会（東京理科大学葛飾校舎）2019年7月27・28日

531. 成田勇樹，浜村佳奈，樫山真美，近藤悠希，石塚洋一,入江哲美，門脇大介，平田純生：第Xa因子阻害剤エドキサバンの腎疾患治療への応用を目指した抗酸化作用の解析．第5回日本医薬品安全性学会（東京理科大学葛飾校舎）2019年7月27・28日 **優秀演題賞受賞**

532. 川畑信浩，近藤悠希，石塚洋一，高橋理佐，岩元暢秀，成田勇樹，門脇大介，平田純生，上野泰弘，入江徹美：慢性腎臓病患者の一般用医薬品適正使用を目指した登録販売者研修プログラムの有用性評価．第 52 回日本薬剤師会学術大会（下関市民会館）2019 年 10 月 13 日・14 日

533. 平田純生：高齢者の薬剤性腎障害を防ぐ．第 52 回日本薬剤師会学術大会スイーツセミナー（下関市民会館）2019 年 10 月 13 日・14 日

534. 平田純生：薬剤性腎障害のアセスメント．第 29 回日本医療薬学会年会シンポジウム 医薬品安全性学のススメ～臨床現場で活躍する薬剤師がめざすこれから～．福岡国際会議場 2019 年 11 月 2 日～4 日

535. Fukunaga M, Kadowaki D, Mori M, Hagiwara S, Narita Y, Saruwatari J, Tanaka Watanabe H, Yamasaki K, Taguchi K, Ito H, Maruyama T, Otagiri M, Hirata S: In vivo evaluation of drug dialyzability utilizing a rat model of hemodialysis. Am Soc Nephrol 2019 (Washington, DC) Novem 5~10

536.平田純生：腎機能低下患者で要注意の薬物．第 22 回日本腎不全看護学会学術集会・総会 ロイトン札幌 2019 年 11 月 9 日～10 日

537.中谷咲良，前田圭介，赤木純児，一木美里，村上鞠奈，福永雅樹，成田勇樹，近藤悠希，石塚洋一，入江徹美，門脇大介，平田純生：サルコペニア高齢者における筋肉量を使用した腎機能推算式補正の検討．第 13 回日本腎臓病薬物療法学会（熊本城ホール）2019 年 11 月 15 日～17 日

538.村上鞠奈，成田勇樹，浦田元樹，近藤悠希，石塚洋一，入江徹美，門脇大介，平田純生：薬物動態及び物性パラメータを用いた透析除去率予測についての検討．第 13 回日本腎臓病薬物療法学会（熊本城ホール）2019 年 11 月 15 日～17 日

539.一木美里，中谷咲良，村上鞠奈，緒方美樹，前原優一，池田拡行，嶋田英敬，成田勇樹，猿渡淳二，門脇大介,平田純生：筋肉質な人におけるより正確な腎機能予測法の検討．第 13 回日本腎臓病薬物療法学会（熊本城ホール）2019 年 11 月 15 日～17 日

540.福永雅樹，内田朱美，末吉美優，前田仁志，成田勇樹，渡邊博志，丸山 徹，瀬尾 量，平田純生，門脇大介：ノイロトロピンの抗酸化作用及び腎保護効果への寄与．第 13 回日本腎臓病薬物療法学会（熊本城ホール）2019 年 11 月 15 日～17 日 **優秀演題賞受賞**

541. 平田純生: 透析導入数を減らすための薬剤師の役割.第 13 回日本腎臓病薬物療法学会 朝まで平田塾（熊本城ホール）2019 年 11 月 15 日～17 日
542. 平田純生: 腎機能低下時の中毒性副作用を防ぐ～透析患者にバンコマイシンを初回通常用量投与？～. 第 13 回日本腎臓病薬物療法学会 朝まで平田塾（熊本城ホール）2019 年 11 月 15 日～17 日
543. 平田純生: 薬剤性腎障害を防ぐ～軟膏が原因で腎機能正常者が透析導入?～. 第 13 回日本腎臓病薬物療法学会 朝まで平田塾（熊本城ホール）2019 年 11 月 15 日～17 日
544. 平田純生: CKD 患者の薬物適正使用 Q&A～皆さんの質問にお答えします～. 第 13 回日本腎臓病薬物療法学会 朝まで平田塾（熊本城ホール）2019 年 11 月 15 日～17 日
545. 平田純生:透析患者の便秘治療の新しい考え方－腸腎連関の最新の知見を踏まえて-.第 13 回日本腎臓病薬物療法学会ランチョンセミナー（熊本城ホール）2019 年 11 月 15 日～17 日
546. 平田純生: CKD に対して薬剤師にできること～明日の腎薬へのメッセージ～. 第 13 回日本腎臓病薬物療法学会大会長講演（熊本城ホール）2019 年 11 月 15 日～17 日
547. 平田純生: 腎機能を正しく評価するための 10 の鉄則. 第 13 回日本腎臓病薬物療法学会理事長講演（熊本城ホール）2019 年 11 月 15 日～17 日

## 2020 年

548. 平田純生: 腎機能低下患者への投与設計. 第 37 回日本 TDM 学会教育講演(名城大学薬学部八事キャンパス), 2020 年 5 月 23～24 日 翌年に開催延期
549. 平田純生: 腎機能低下患者・高齢者の疼痛緩和ケアのポイント.第 14 回日本緩和医療薬学会教育講演（岡山コンベンションセンター）2020 年 5 月 30～31 日 開催中止
547. 平田純生: 超高齢者社会で起こっている急性中毒は何か. 第 42 回日本中毒学会総会教育講演(鹿児島サンロイヤルホテル), 2020 WEB 開催
550. 平田純生: 腎機能を守る薬物療法. 第 6 回日本医薬品安全性学会シンポジウム「CKD 患者の医薬品安全性を担保する」（朱鷺メッセ）, 2020 開催中止
551. 平田純生: 投与設計にどの腎機能を用いるべきか. シンポジウム投与設計にどの腎機能を用いるべきか～ピットフォール症例から学ぶ～. 第 30 回日本医療薬学会シンポジウム(名古屋国際会議場), 2020
552. 平田純生: 腎を起因とする中毒性副作用『急性中毒医療における臨床推論』第 30 回日本医療薬学会シンポジウム（名古屋国際会議場）, 2020 未定
553. 平田純生: フレイル・サルコペニア高齢者の腎機能の評価. 第 14 回日本腎臓病薬物療法学会「超高齢者社会を見据えた薬物療法～キーワードは腎～」 未定
554. 平田純生: 高齢者の薬物適正使用について考える. 第 14 回日本腎臓病薬物療法学会理事長講演, 2020 未定
555. 平田純生: 腎臓が何をやっているかを知って薬物適正使用に生かそう. 第 14 回日本腎臓病薬物療法学会平田塾, 2020 未定